

令和7年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 茨城県常陸太田市

自治体名： 茨城県常陸太田市

担当課名： 常陸太田市教育委員会生涯学習課

電話番号： 0294-72-8888

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

|                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 面積                     | 372km <sup>2</sup> |
| 人口                     | 43,608人            |
| 公立中学校数                 | 7校                 |
| 公立中学校生徒数               | 778人               |
| 部活動数<br>(運動部活動のみ)      | 46部活               |
| 地域クラブ活動数               | 5クラブ               |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 設置済                |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定済                |

## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

現在、当市の運動部活動は、軟式野球部、サッカー部、男子ソフトテニス部、女子ソフトテニス部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、卓球部、剣道部、弓道部、多目的運動部、陸上部の13種目が活動している。

少子化に伴い、団体種目においては、合同チームによる活動や拠点校による部活動を行っている。

昨今の児童・生徒数を見ると団体スポーツの将来的な存続は難しいものと考えている。部活動改革の第一歩として、休日の部活動の段階的な地域展開をしていく必要がある。

このような諸課題の解決を図るため、令和5年度以降、3年間程度を改革推進期間とし、地域の持続可能な受け入れ環境を一体的に整備するとともに、

休日等の部活動の地域移行を積極的に推進することで、生徒たちの多様な体験機会を確保できるよう推進する。

令和5年4月より「地域野球クラブ」、令和6年3月より「地域バレーボールクラブ」「総合スポーツクラブ」、同年11月より「地域サッカークラブ」、同年4月より「地域バスケットボールクラブ（女子）」が活動を開始した。まず、地域クラブ活動への参加については、「任意参加」の方針を取っており、生徒主体のクラブ活動運営に努める。また、将来的にも児童・生徒数の減少が見込まれることから、活動が困難になると推測される団体競技を優先しつつ、受け皿となる環境を整え地域クラブ活動への移行を推進していく。

常陸太田市小学校児童数  
推移



※常陸太田市教育委員会

常陸太田市中学校生徒数 推移

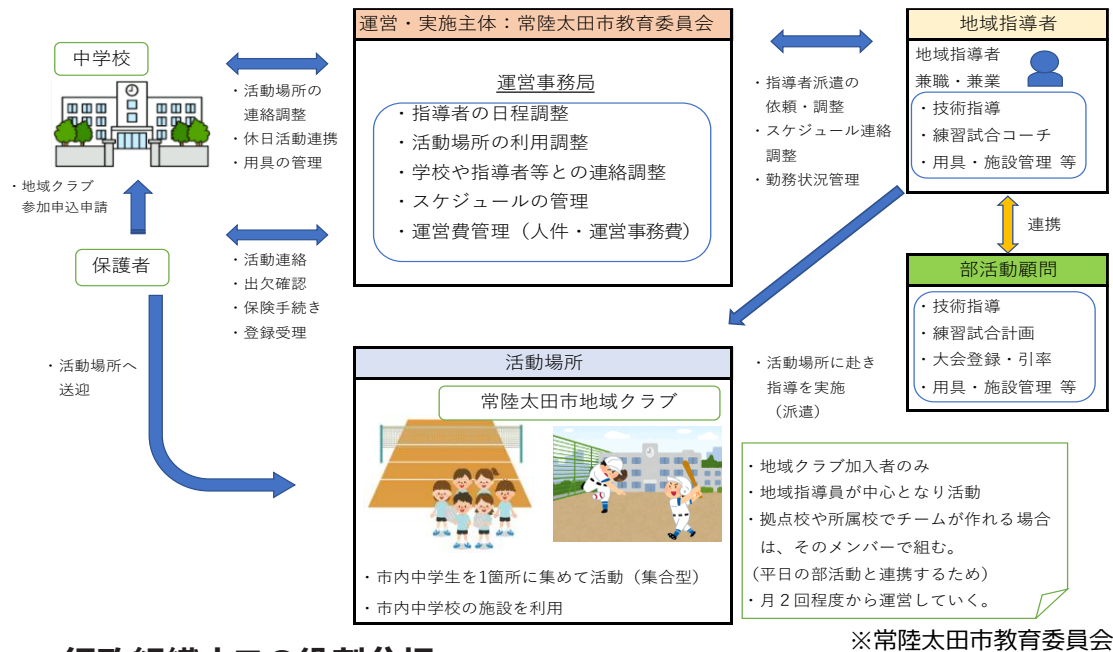


※常陸太田市教育委員会

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●市区町村における推進体制図



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

（生涯学習課・コーディネーターを含む）

- 常陸太田市地域クラブ活動推進委員会 事務局
- 常陸太田市における地域クラブ活動の運営全般に関すること（指導室）
- 部活動指導方針の策定（スポーツ振興課）
- スポーツ少年団やスポーツ協会との連絡調整

### 年間の事業スケジュール

|         |                                                            |
|---------|------------------------------------------------------------|
| 令和7年4月  | 地域クラブ活動加入案内配付<br>加入手続き・活動開始<br>（軟式野球、バレーボール、サッカー、バスケットボール） |
| 令和7年5月  | 新1年生地域クラブ加入<br>（軟式野球、バレーボール、サッカー、バスケットボール）                 |
| 令和7年5月  | バスケットボール指導者との打合せ                                           |
| 令和7年7月  | 部活動顧問会議                                                    |
| 令和7年12月 | 地域クラブ活動実態調査                                                |
| 令和8年1月  | 新入生説明会における地域クラブに関する説明                                      |
| 令和8年3月  | 第1回部活動地域移行検討委員会                                            |
| 令和8年3月  | 事業完了報告書・成果報告書等の作成                                          |

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|               |                                     |             |    |
|---------------|-------------------------------------|-------------|----|
| 実施した地域クラブ活動総数 |                                     | 5クラブ        |    |
| ケース別地域クラブ活動数  | A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数） | 4クラブ（19部活動） |    |
|               | B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数            | 1クラブ        |    |
| 全体の指導者数       | 27人                                 | 全体の運営スタッフ数  | 2人 |

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

| 地域クラブ活動名                       | 運営団体種別    | 種目                | 実施回数<br>(平日・休日)        | 実施時間帯          | 参加者<br>(学年別)             | 実施期間      | 活動場所                      | 指導員<br>数 | 運営スタッフ数<br>(他クラブと兼務) | 会費                                 | 大会参加方法             |
|--------------------------------|-----------|-------------------|------------------------|----------------|--------------------------|-----------|---------------------------|----------|----------------------|------------------------------------|--------------------|
| 常陸太田市地域<br>野球クラブ               | 行政主導<br>型 | 軟式野<br>球          | 月2回程度<br>(休日)          | 8:00～<br>11:00 | 1年：7名<br>2年：9名<br>3年：8名  | 4月～3<br>月 | 市内<br>中学校<br>(校庭)         | 7人       | 2人<br>(内、兼務2人)       | 月1,000円（活<br>動費）<br>年400円<br>(保険料) | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| 常陸太田市地域<br>バレーボールクラブ           | 行政主導<br>型 | バレー<br>ボール        | 月2回程度<br>(休日)          | 8:00～<br>11:00 | 1年：26名<br>2年：6名<br>3年：3名 | 4月～3<br>月 | 市内<br>中学校<br>(体育館)        | 7人       | 2人<br>(内、兼務2人)       |                                    | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| 常陸太田市地域<br>サッカークラブ             | 行政主導<br>型 | サッカー              | 月2回程度<br>(休日)          | 8:00～<br>11:00 | 2年：3名<br>3年：9名           | 4月～3<br>月 | 市内<br>中学校<br>(校庭)         | 6人       | 2人<br>(内、兼務2人)       |                                    | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| 常陸太田市地域<br>バスケットボールクラ<br>ブ（女子） | 行政主導<br>型 | バスケット<br>ボール      | 月2回程度<br>(休日)          | 8:00～<br>11:00 | 2年：4名<br>1年：1名           | 4月～3<br>月 | 市内<br>中学校<br>(体育館)        | 3人       | 2人<br>(内、兼務2人)       |                                    | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| 常陸太田市地域<br>総合クラブ               | 行政主導<br>型 | 体幹ト<br>レーニン<br>グ等 | 2～3か月に1回<br>程度<br>(休日) | 8:00～<br>9:00  | 各クラブ所属<br>生徒対象           | 4月～3<br>月 | 市内<br>中学校<br>(校庭・体育<br>館) | 4人       | 2人<br>(内、兼務2人)       | なし<br>(他のクラブと兼<br>ねる)              | なし                 |

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 地域卓球クラブ体験会・・・2月23日（月）市内中学校体育館において実施。中学1・2年生の生徒22名、指導者2名、運営スタッフ2名参加。
- 総合クラブは、他の各クラブ活動と連携し、ケアや怪我をしにくい体幹トレーニング、体のケア等の講習を実施している。

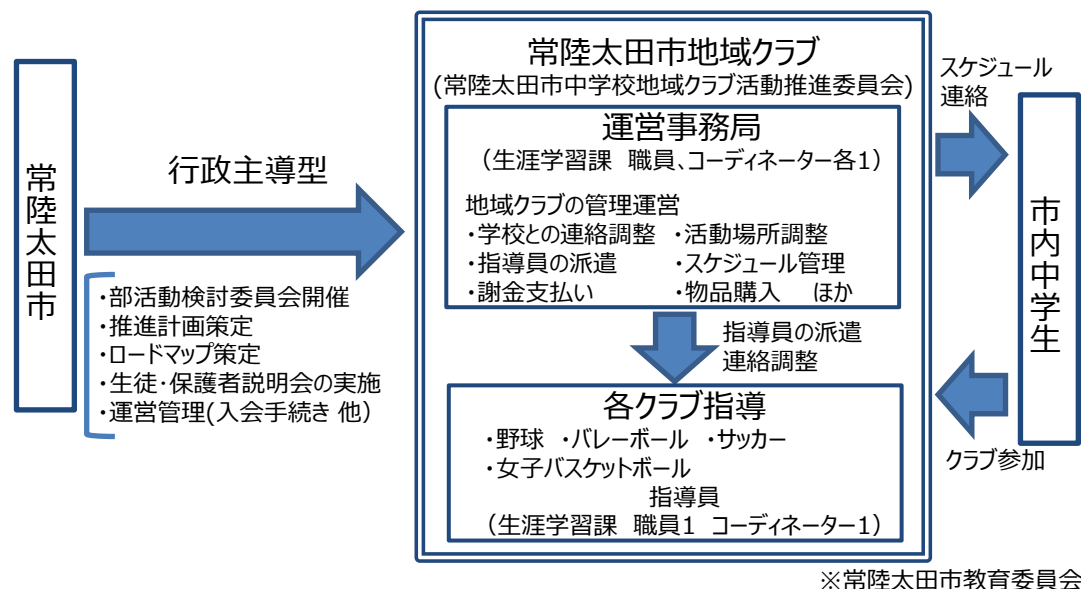
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●常陸太田市中学校地域クラブ 活動概要

|                 |                                                   |
|-----------------|---------------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | 野球、バレーボール、サッカー、バスケットボール                           |
| 運営団体名           | 常陸太田市地域クラブ活動推進委員会                                 |
| 期間と日数           | 野球、バレーボール、サッカー、バスケットボール：月2回程度                     |
| 指導者の主な属性        | 市人材バンク登録者                                         |
| 活動場所            | 市内中学校（校庭・体育館）                                     |
| 主な移動手段          | 保護者による送迎                                          |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 野球・バレーボール・サッカー・バスケットボール：12,000円<br>（月1,000円×12か月） |
| 1人あたりの保険料       | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：400円/年<br>指導者1人あたり：400円/年     |

#### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



#### ●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

- 運営事務局（生涯学習課）  
役割：指導員派遣、運営管理・事務、学校との連絡調整、活動場所の調整、スケジュール管理、指導者報酬・活動費等の手続きを行う
- 統括責任者（中学校地域クラブ活動推進委員会）  
役割：入会希望の生徒・指導者登録・兼職希望の教員の承認等を行う
- 指導者28名  
役割：生徒への技能・技術指導を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- 行政主導での地域クラブ設立及び運営。
- 市内学校長会、市中体連との連携により、部活動地域展開の基本方針を策定する。
- コーディネーターを1名配置し、関係団体・市区町村・学校・保護者との連絡調整・指導助言等を行う。
- 運営体制の整備や人材の確保等、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。
- 参加者の管理、保険料徴収、参加者・指導員への連絡、会場確保・調整、学校連携。

##### 取組の成果

- コーディネーターを運営団体に配置したことにより、事務局が連絡調整の起点となり、家庭・指導員・学校への連絡調整を円滑に行うことができた。
- 指導員の派遣や練習場所の確保、練習計画を事務局が行うことにより、地域クラブ指導員の負担を軽減することができた。また、その連絡手段として連絡アプリを使用することにより、効率的に進めることができた。
- 事務局が、活動に立ち会うことにより、地域クラブ指導員との打合せを実施することができた。指導員へのアンケートでは、指導員の80%が、「事務局との連絡が円滑である」と回答している。

##### 今後の取組における課題

- 運営スタッフ2名（コーディネーター1名を含む）で地域クラブの運営・事務のほとんどを担っている。
- 行政主導型のため、全ての地域クラブの用具や会場の準備、片付けを行う等、負担感が非常に大きい。
- 次年度以降、実施種目を増やす予定であり、現状では対応が難しい状況である。
- 調査の結果、指導員の67%が学校と地域との指導連携が難しいと考えている。

##### 課題への対応方針

- 平日の部活動と休日の地域クラブ活動との連携を図っていく。地域指導員と学校部活動との連携がとれるように、情報交換の場の設定や事務局を介した意見交換を行っていく。
- 各地域クラブの用具を練習会場に置いておく。また、会場の準備や後片付けを指導員に依頼する等、事務局と指導員の役割を明確にしていく。今後の種目数の増加に伴い、けが等の事態に対応できるよう、指導員と協議し、連絡体制を整備していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

- 各クラブの練習を巡回し課題等のヒアリング・助言等を実施
- 指導員との連絡調整及び助言
- 学校との連絡調整

##### 地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- SNSを使用した地域クラブ活動の指導者との連絡・調整  
→LINEの日程調整機能を使って、参加できる指導員を把握
- 「マチコミアプリ」を使用した保護者、生徒への連絡  
→練習計画の送信、中止・延期・活動場所変更のお知らせの周知、欠席連絡等

##### 運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- 指導員に対するコンプライアンスに関する資料の提供
- 指導員による不適切な指導をチェックするため、事務局による各地域クラブの巡回

##### 地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- 「常陸太田市地域クラブ活動リスクマネジメント対策マニュアル」を基にした、事故等の発生時における対応及び緊急連絡体制の共通理解

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

- 人材バンクの設置と競技団体やスポーツ少年団への相談・連携
- 教員の兼職兼業についての説明資料の配付
- 指導方針、コンプライアンス、指導する際の留意点等に関する研修
- 指導者との打合せや、運営スタッフによる活動場所の巡回

##### 取組の成果

- 各種競技団体やスポーツ少年団、兼職兼業教員の専門的な技術指導により質の高い練習を提供できているといえる。
- 運営スタッフが活動場所を巡回することにより、各クラブ活動時に研修・打合せを行い地域クラブについて共通理解をすることができた。

##### 今後の取組における課題

- 部活動顧問と地域クラブ指導員との連携があまりとれておらず、平日と休日の指導内容の違いについて把握したり、効果的な指導に生かしたりすることができなかった。
- 競技団体やスポーツ少年団との連携による指導者確保については、休日の活動日が重なっていることから、新たな指導者の協力を得ることが難しかった。

##### 課題への対応方針

- 部活動担当の教員が、地域クラブ活動を見学する機会を設定したり、事務局が仲介となって意見や要望を伝達したりすることにより、生徒が安心して取組めるようにする。
- 指導者確保については、競技団体やスポーツ少年団だけでなく、種目経験者や学生等、幅広い視点で柔軟に対応していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

- 市内中学校、市スポーツ協会、競技団体、市スポーツ少年団、市文化団体連合会等と連携し、指導員の確保及び新たに地域移行する部活動の検討委員会の開催

##### 取組の成果

- 市内中学校の協力のもと、募集チラシの配付や新入生説明会での案内、施設利用の円滑化が図れた。
- 検討委員会では、今後の参考となる幅広い視点からの意見をいただくことができた。

##### 今後の取組における課題

- 市として地域クラブ開設から3年が経過し、各競技団体や市スポーツ少年団から新たに指導員を確保することが困難になっている。また、子どもの数そのものが減ってきている中、競技団体やスポーツ少年団の継続が難しくなっているところもあり、地域クラブへ協力する余裕がないのが現状である。
- 体育祭や文化祭、修学旅行等の学校行事が各校で何週かに分けられているときに、地域クラブを実施することが困難になる。また、定期テスト2～3日前には地域クラブを実施しないため、各校の日程の組み合わせによっては、地域クラブの日程が入れられないことがある。

##### 課題への対応方針

- 広報により指導員を募集するとともに、近隣の市町村や大学等に呼びかける。
- 既存のクラブを、「認定クラブ」とすることを視野に入れ、子どもたちが活動する場を確保していく。

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

- 行政主導型による地域クラブ活動を実施し、個人技能向上を基本とする活動を行なった。
- 「地域クラブに関する調査」を実施し、生徒・保護者・指導員のニーズの把握に努めた。

##### 取組の成果

- 市内の中学生が一カ所に集まり、普段より幅広い練習メニューの中で専門的な指導が受けられることが、充実感につながっている。
- 生徒への意向調査の結果から、生徒が開設してほしい種目とその人数を把握することで、次年度から新たな種目を増やすこととなった。

##### 今後の取組における課題

- 生徒へのアンケートの結果、「技術・戦術的な指導」を求める声がおよそ7割と最も多かったが、一部の生徒は「勝ち負けにこだわらず楽しくやりたい」と回答しており、ニーズに合わせた指導方針の検討が必要である。
- 活動回数については、生徒、保護者ともさらに増やすことを望んでいる。

##### 課題への対応方針

- 「スポーツに親しむ機会を提供する」という地域クラブの趣旨はあるものの、試合で生かせる技能を身に付けることは重要であることから、指導員と協議しながら練習内容等の改善・充実を図っていく。一方で、活動回数については、指導員の人数に限りがあることや団体や少年団の活動と重なり、月2回の活動を増やすことは難しい。指導者の確保を重点において運営を進めていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

##### 取組事項

- 令和7年度は、受益者負担を種目に限らず一律月1,000円の活動費及び保険料400円と設定した。
- 活動費は3期に分け、各期末に納入してもらう。運営側や各学校の都合で実施できなかった分は減額して徴収するようにし、保護者負担を抑えるようにした。

##### 取組の成果

- 納入がやや遅れる保護者が見られたが、未納者もなく特に問題なく徴収できている。
- 保護者を対象に実施したアンケート結果等からも負担額は概ね適正であり、費用負担が入会の障害になっている様子はない。

##### 収支バランス

- 地域クラブ活動に係る収入の内、受益者負担で賄えたのは1割強であり、残りの9割弱は実証事業委託金である。
- 支出については、その約8割が人件費や指導者謝金であり、各クラブでの必要な用具等を十分には購入できていない。
- 今後、実施種目や実施回数の増加が企画されており、支出増が予想され、何らかの公的負担に今後も期待したい。

##### 持続可能な運営に必要な受益者負担額の試算

- 前年度末の参加費に関する保護者アンケートでは、月1,000円以下が妥当であるとの意見が36%、次いで2,000円以下が32%という結果であった。
- クラブ活動費のみを受益者で賄う場合、一人当たり月2,000円が必要となる。現在の2倍になり、現実的な受益者負担額（保護者の負担可能額）と大きな差がある。

##### 今後の取組における課題

- 参加費は受益者負担で、充当できる額は参加者の人数によって大きく変動するため予算案立案に難しさがある。
- 各学校や個人の都合を勘案しながら参加費を決定しようとすると、減額基準が曖昧になりがちである。
- 種目ごとのランニングコストはかなり差がみられた。

##### 課題への対応方針

- 費用負担の在り方に対する取組として、地域スポーツクラブ活動に対する収支を踏まえた保護者負担経費については、施設や備品について学校との連携を深めるとともに、既存の部活動における活動経費との比較や調整・管理の在り方を含め検討を行う。
- 参加費徴収の方法について、生徒の実参加回数をもとにした算出方法を検討する。

#### ●収入

| 項目      | 費用         | 割合    |
|---------|------------|-------|
| 実証事業委託金 | ¥2,688,588 | 87.5% |
| 受益者負担金  | ¥385,400   | 12.5% |
| 合計      | ¥3,073,988 | —     |

#### ●支出

| 項目       | 費用         | 割合    |
|----------|------------|-------|
| 地域クラブ活動費 | ¥1,200,825 | 39.1% |
| 諸謝金（指導者） | ¥584,600   | 19.0% |
| 消耗品費     | ¥573,625   | 18.7% |
| 生徒保険料    | ¥31,400    | 1.0%  |
| 指導者保険料   | ¥11,200    | 0.4%  |
| 事務局運営費   | ¥1,873,163 | 60.9% |
| 人件費      | ¥1,865,133 | 60.7% |
| 通信運搬費    | ¥8,030     | 0.2%  |
| 合計       | ¥3,073,988 | —     |

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

- 地域クラブは現在5種目が活動しており、市内中学校を練習拠点とし、活動をしている。
- 練習拠点となる中学校と、日程について連絡・調整を行い、グラウンドや体育館を使用した。各校にキーボックスを設置し、鍵の受け渡しができるようにしている。

##### 取組の成果

- 本年度の全地域クラブ活動の94%を学校施設を利用して実施することができた。
- 練習拠点となる市内中学校にキーボックスを取付け、休日の鍵の受け渡しができるようにしたことで、学校職員の負担が減り、施設の鍵の受け渡しもスムーズになった。
- ボール等を地域クラブ活動でそろえることにより、生徒に十分な活動の場を設定することができた。

##### 今後の取組における課題

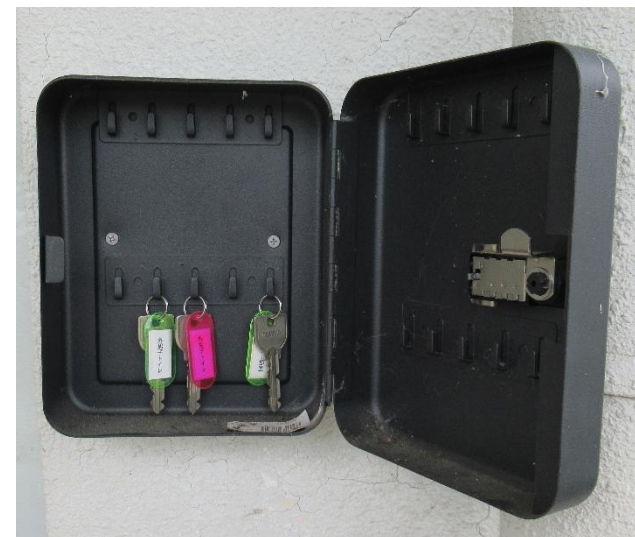
- 用具については、これまで運営スタッフ2人で種目に合わせて運び、準備を行っていた。これからの種目数の増加に伴い、対応できなくなってしまうことが予想される。

##### 課題への対応方針

- 各地域クラブの活動場所となる中学校を固定化し、用具を置いておく。施設の鍵の管理、用具の準備等を指導者に委託する。運営スタッフは各会場を巡回して、出席者の確認・緊急時の対応にあたる。

##### 学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

- 各中学校におけるキーボックス等による鍵の受け渡し  
→土日の地域クラブの活動に合わせて、各中学校の担当教員が、体育館玄関・用具倉庫・部室・トイレ等の鍵をキーボックスに入れ、ダイヤル式の暗証番号でロックする。地域クラブ活動日に、事務局がキーボックスを開けて開錠する。



##### 用具使用・管理等における取組

- 部活動との用具の共用  
→野球部（ベース・ミット・キャッチャー防具等）  
バレーボール（ボール・ネット・アンテナ等）  
サッカー（ゴール・ミニゴール・カラーコーン等）  
バスケットボール（ボール、ゴール等）

## 2.実証内容と成果①

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

地域移行の取組として、各中学校から希望を募り、令和5年4月より地域野球クラブを開設、令和6年3月より地域バレーボールクラブ・地域総合クラブ、同年11月より地域サッカークラブ、令和7年4月に地域バスケットボールクラブ（女子）を開設した。5つのクラブに76名の生徒が登録している。指導員は、少年団等で指導経験のある地域指導者21名と兼職兼業6名、計27名である。クラブ活動は、月2回程度、休日に指導員を各練習会場へ派遣し、活動を行った。

生徒へ、スポーツを親しむ場を提供し、指導員の専門的な技術指導により、生徒の技能の向上を図ることができた。また、市内の生徒を一カ所に集めて活動することによって、平日の部活動ではできない大人数によるゲームを踏まえた活動も行うことができた。地域クラブ活動としては、参加者の満足度は高く、生徒と指導員との関係も良好である。しかし、チーム練習の面では、平日の部活動との連携が必要であったり、「もっと活動したい」という生徒や保護者の要望があったりする等、課題がみられた。来年度、指導員と学校部活動との連携がとれるように場の設定を行っていくとともに、指導者の確保に継続して取り組んでいく。

令和7年度から参加費用負担として月額1,000円を保護者から徴収することとしてスタートしたが、悪天候や指導員の都合が合わずに全く活動ができない月もあり、参加費を徴収をためらわざるを得ないこともあった。結果として受益者負担は経費全体の1割強にとどまり、公的負担に頼らざるを得ない状況である。

#### ●成果の評価

- 生徒を市内一カ所に集め開催することにより、練習の幅が広がったことに加え、他校生徒との交流が増え、生徒たちにとってスポーツを楽しむ機会となった。しかし、種目によっては地域クラブに加入する生徒が少ない学年がある等、運営において不安定な面も見られる。
- 指導員により、専門的な技術指導を行ってもらうことにより、生徒の技能面での向上が見られる。生徒自身も上達していることを実感し、意欲の向上につながっている。
- 市内中学校の施設で活動することにより、部活動の設備を活用することができ、効率的に練習を行うことができた。また、地域クラブ活動の充実のため用具を補充することができた。
- 行政主導型により、事務局が学校と連絡を取り合ったり、指導員と打合せをしたりしながら、連携をとることができた。一方で、事務局の負担が大きく、種目数の増加に伴って、進め方を工夫していくことも必要である。
- 練習拠点となる市内中学校にキーボックスを取付け、休日の鍵の受け渡しができるようにするとともに、練習用具の使用や保管についても学校の協力を得たことで活動がスムーズになった。
- 受益者負担として参加費を設定したが、特に問題なく徴収することができた。ただ、実施回数に見合った参加費徴収の在り方を検討していく必要がある。

#### ●今後に向けて

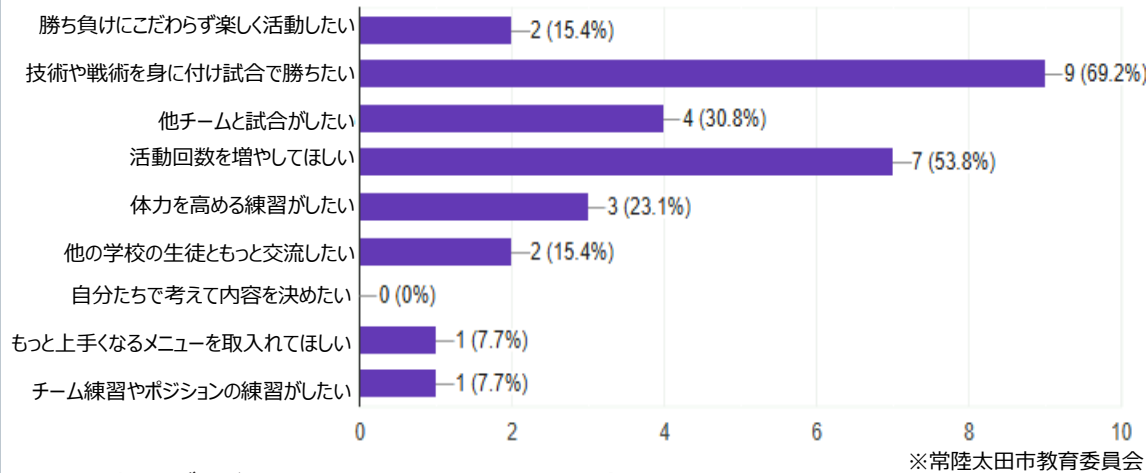
市内中学校の生徒の意向調査をもとに、今後の地域クラブへ移行する競技を検討してきた。令和8年度から、卓球・テニス・バスケットボール（男女）の開設を検討しており、その指導員の確保を進めていく。また、指導員による鍵の管理や用具の準備を担っていただくため、指導員を集めて説明会を開催する。「実施回数を多くしてほしい」という要望については、指導員の確保が必要なため難しいが、質の高い練習にするため、指導員の人選や練習内容についての協議、部活動顧問との意見交換の場の設定等を進めていくとともに、施設の利用・管理や受益者負担の在り方についても検討していく。

## 2.実証内容と成果②

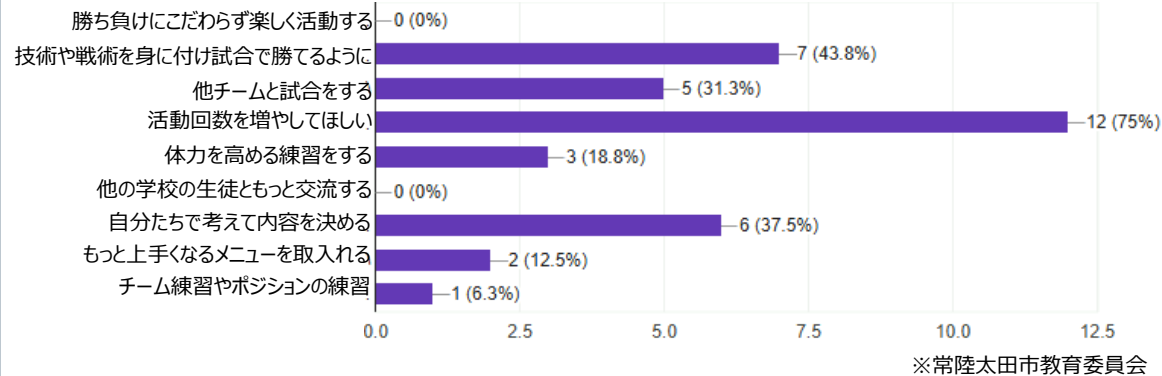
### アンケート結果・参加者/関係者の声

#### ●アンケート結果

##### 1. 地域クラブにどのようなことを期待しますか？（生徒）



##### 2. 地域クラブにどのようなことを期待しますか？（保護者）



#### ●参加者/関係者の声

##### 参加者（生徒）

- ・ 技術が身に付いてきたのでうれしい。
- ・ 人数が増えて、学校ではできない様々な練習ができる。
- ・ もっと回数を増やしてほしい。
- ・ 同じ拠点校の人に参加してほしい。チーム練習がしたい。

##### 保護者

- ・ 活動回数を増やしてほしい。
- ・ 試合で勝てるように技術・戦術指導してほしい。
- ・ 他校の生徒との交流ができるのがよい。

##### 指導者

- ・ 生徒たちが少しずつ上達していくのがうれしい。
- ・ 部活動でどのように取組んでいるのか知りたい。
- ・ 自分たちのクラブもあるので、参加できないときがあり、申し訳ない。

##### 教師

- ・ 土日に部活を見てもらい、負担感が少し減った。
- ・ 生徒の土日の活動の場所を確保してほしい。
- ・ 他の部活についても地域クラブをつくってほしい。
- ・ 大会の運営も地域クラブで担ってほしい。

生徒、保護者ともに「活動回数を増やしてほしい」という声が多い。これまでの部活動での取組と同じ頻度で活動することを求めていると考えられる。特に、生徒は「技術や戦術を身に付け試合で勝ちたい」という回答の割合が高い。勝利という目標に向けて、前向きに取組んでいる生徒が多いことから、練習内容について指導員と打合せを行っていく。さらに、平日の部活動にも生かせるように、担当の教員への情報提供等を事務局が行っていくことも必要である。

## 2.実証内容と成果③

### 参考資料



【地域バレーボールクラブ練習の様子】



【地域野球クラブ練習の様子】



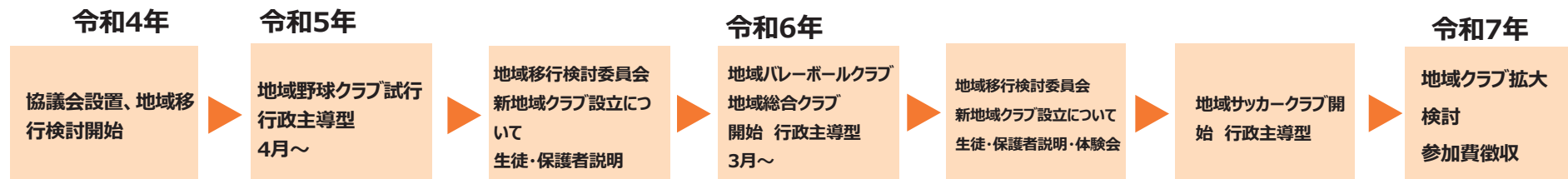
【地域総合クラブによるけがを防ぐストレッチ】



【次年度開設に向けた地域卓球クラブ体験会】

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ステークホルダー

市教育委員会（常陸太田市地域クラブ活動推進委員会）、  
コーディネーター、学校、スポーツ協会、スポーツ団体

#### 経過

令和4年度より検討委員会を設置し、常陸太田市地域クラブ活動推進委員会を運営団体として、行政主導型の地域クラブ活動としての活動指針を策定した。令和5年4月より団体種目の地域野球クラブをモデルクラブとして試行し、その検討を基に翌年3月から地域バレーボール、地域総合クラブを開始した。令和6年度は地域サッカークラブ、令和7年度は地域バスケットボールクラブ（女子）を開始。運営事務局とコーディネーター、学校、指導員等で連携をとり、活動環境整備及び運営に取り組んでいる。

#### 実施内容

令和6年度からは、市地域クラブ活動を月2回程度の休日に行うとする試験的な取組を開始した。地域クラブ活動は全4クラブが実施された。市内中学校の生徒が参加する形態であり、その競技とは異なる部活動に入部している生徒も参加可能である。また、スポーツトレーナーと連携し、ケアや怪我をしにくい体幹トレーニングも行っている。

令和7年度から受益者負担として参加費（月額1,000円）を徴収している。

#### 実施にあたって生じた課題

市の現状として、生徒数の減少が影響している。地域クラブ活動を開始しても、種目により参加する生徒が少ない場合がある。生徒の要望も2極化され、学校部活動以外に休日のクラブ活動の参加まで行う生徒が少ない状況である。今後、地域クラブ活動の運営事項を検討していく必要がある。

休日のクラブ活動において、中体連や各学校との連携が重要である。現状では中体連主催の大会や各種目独自の大会、休日に行われる学校行事などにより地域クラブ活動日が限定され、年度当初の計画を実行することが難しくなっている。

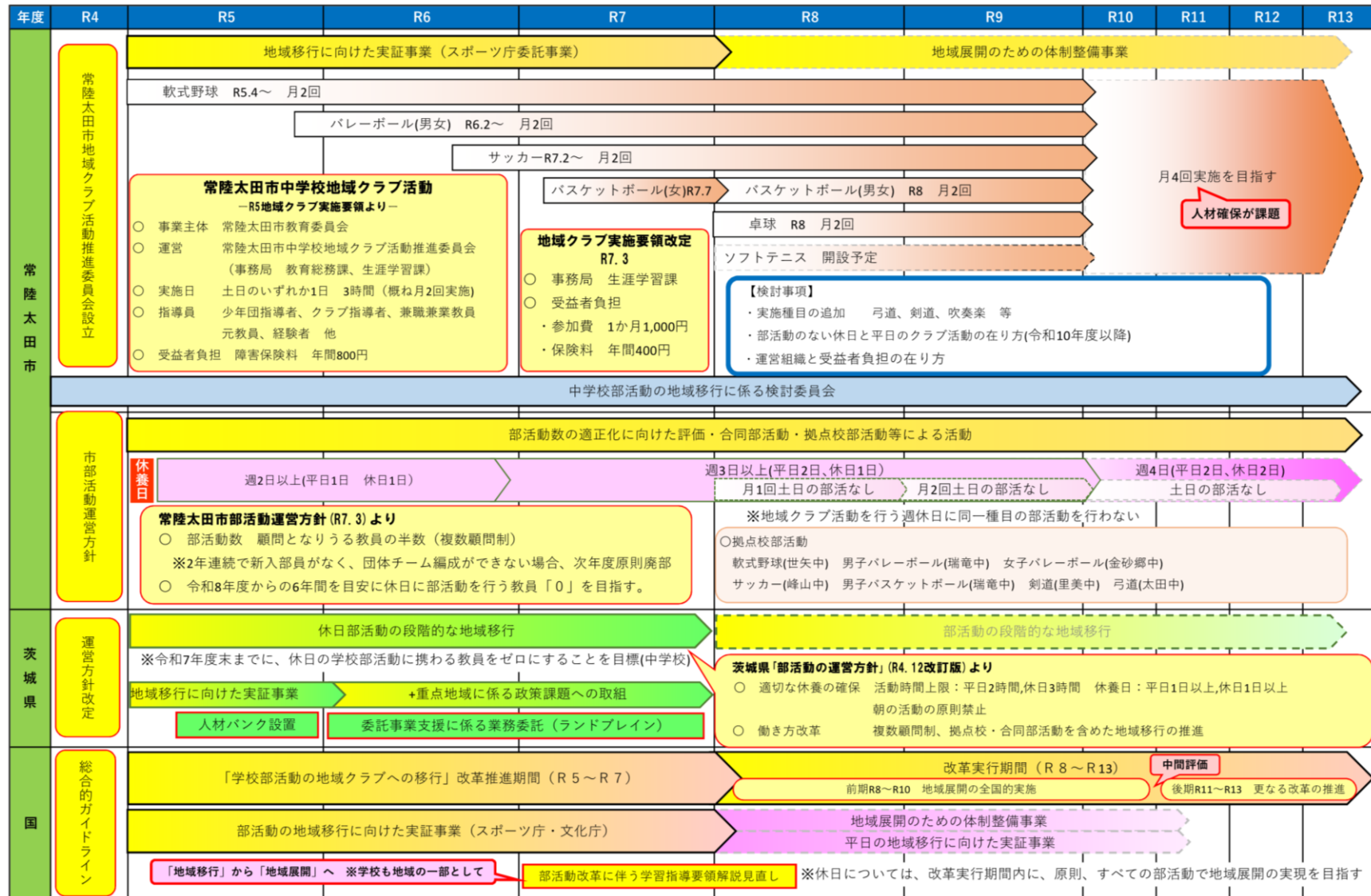
また、種目によって指導員の不足が大きな課題として挙げられる。スポーツ少年団やスポーツ協会等へ指導員募集の案内を出す等、関係者への働きかけを検討しているが、人材がいないのが現状である。

#### 今後の展開

令和8年度からは、地域卓球クラブ、地域テニスクラブの開設を予定している。卓球については指導者を確保し、体験会を実施した。テニスは、市内の民間クラブに所属する生徒が多く、そのクラブからの指導者の派遣も難しいため、認定クラブとして生徒たちに活動の場を提供することも視野に入れている。

# 3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



※常陸太田市教育委員会

令和7年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 茨城県高萩市

自治体名： 茨城県高萩市

担当課名： 教育委員会生涯学習課

電話番号： 0293-23-1132

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

|                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 面積                     | 193.55km <sup>2</sup> |
| 人口                     | 25,130人               |
| 公立中学校数                 | 3校                    |
| 公立中学校生徒数               | 555人                  |
| 部活動数<br>(運動部活動のみ)      | 26部活                  |
| 地域クラブ活動数               | 9クラブ                  |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 設置済                   |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 未策定                   |

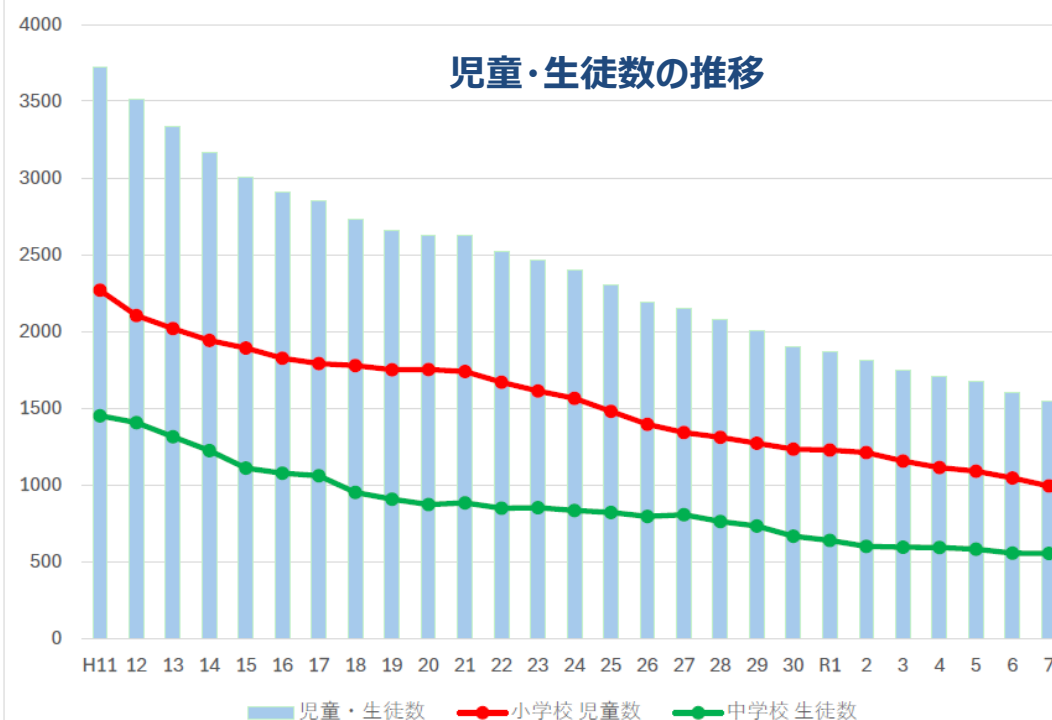
## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

高萩市の中学校3校は、少子化の進行に伴う生徒数の減少により部員数の維持が難しくなっている。そのため、学校部活動においては、従来通りの学校単位でのチーム編成や大会出場が困難になってきている現状である。

現在、本市の中学校運動部活動は、8競技26部活が活動しているが、軟式野球、サッカー、バスケットボールのチーム競技は3校での合同部活動を行い、合同チームで大会に出場している。

合同部活動ではなく、如何に学校管理下から脱却し、地域クラブとして活動していくことが重要であり、そのためには、地域指導者の確保や教員の兼職兼業の円滑化等を含めた体制の構築が必要である。

### 児童・生徒数の推移



スポーツ庁

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|               |                                     |                         |     |
|---------------|-------------------------------------|-------------------------|-----|
| 実施した地域クラブ活動総数 |                                     | 9クラブ                    |     |
| ケース別地域クラブ活動数  | A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数） | 1クラブ（地域クラブ）<br>7クラブ（部活） |     |
|               | B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数            | 1クラブ                    |     |
| 全体の指導者数       | 30人                                 | 全体の運営スタッフ数              | 30人 |

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

| 地域クラブ活動名     | 運営団体種別 | 種目       | 実施回数（平日・休日） | 実施時間帯     | 参加者 | 実施期間 | 指導者数 | 運営スタッフ数（他クラブと兼務） | 会費       | 大会参加方法         |
|--------------|--------|----------|-------------|-----------|-----|------|------|------------------|----------|----------------|
| 高萩BBC        | 市町村    | 野球       | 週 1回        | 土日祝のうち3時間 | 22人 | 通年   | 3人   | 3人               | なし       | 中体連：部活動（合同チーム） |
| 高萩FC         | 市町村    | サッカー     | 週 1回        | 土日祝のうち3時間 | 42人 | 通年   | 3人   | 3人               | なし       | 中体連：部活動（合同チーム） |
| たかはぎBBC      | 市町村    | バスケットボール | 週 1回        | 土日祝のうち3時間 | 57人 | 通年   | 5人   | 5人               | なし       | 中体連：部活動（合同チーム） |
| 高萩市柔道スポーツ少年団 | 市町村    | 柔道       | 週 1回        | 土日祝のうち3時間 | 9人  | 通年   | 2人   | 2人               | 1,500円/年 | 中体連：クラブチーム     |

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

サッカー競技では、9月から地域指導者による3校合同練習会を実施している。

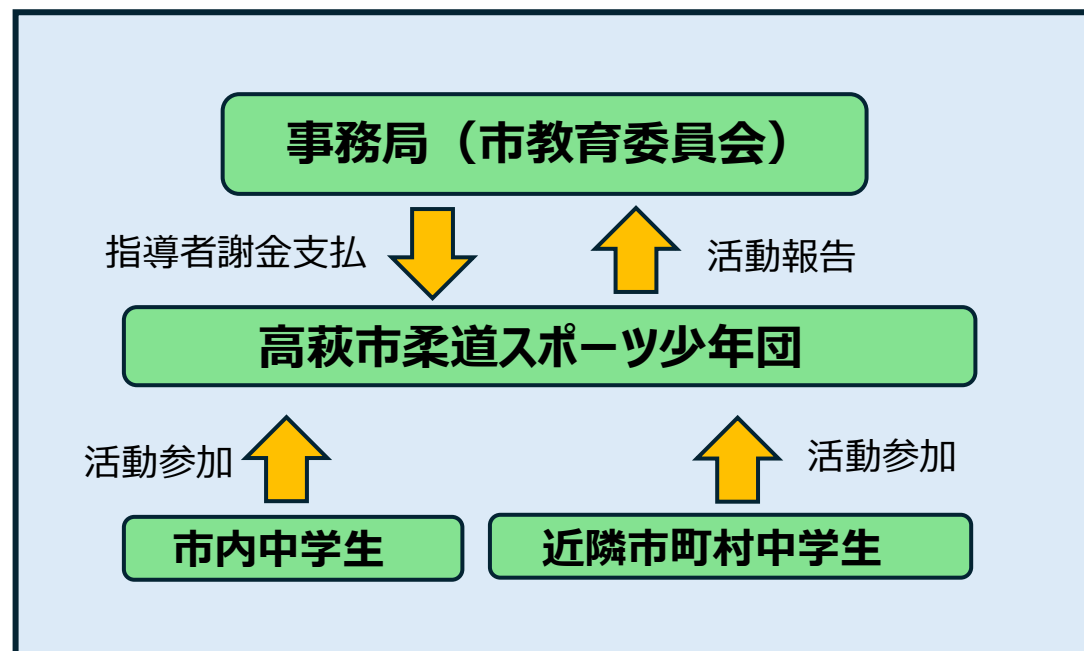
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●高萩市柔道スポーツ少年団 活動概要

|                 |                                                 |
|-----------------|-------------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | 柔道                                              |
| 運営団体名           | 高萩市柔道スポーツ少年団                                    |
| 期間と日数           | 通年 週1回                                          |
| 指導者の主な属性        | スポーツ少年団指導者                                      |
| 活動場所            | 市民体育館柔道場、高萩中学校武道場                               |
| 主な移動手段          | 徒歩、自転車、保護者送迎                                    |
| 1人あたりの参加会費等(年額) | 1,500円                                          |
| 1人あたりの保険料       | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年<br>指導者1人あたり：1,850円/年 |

#### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



#### ●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

##### ●統括責任者・主任指導者 1名

役割：活動における管理者として、学校、保護者、事務局との連携、また、競技連盟公認指導者として技術指導も行う。

##### ●指導者 1名

役割：活動において、主任指導者の補助として指導を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

- ◆柔道：令和5年度から少年団が受皿
- ◆野球：市内3校の合同部活動
- ◆サッカー：少年団が受皿を検討し、試験的に活動
- ◆バスケットボール：外部コーチが参加しての市内3校の合同部活動
- ◆バレーボール：市内3校の合同部活動
- ◆ソフトテニス：市内2校の合同部活動
- ◆卓球：各学校による部活動
- ◆剣道：拠点校

##### 取組の成果

- ◆柔道：令和5年度から少年団が受皿
- ◆野球：受皿の模索
- ◆サッカー：試験的活動を継続
- ◆バスケットボール：受皿の模索
- ◆バレーボール：受皿の模索
- ◆ソフトテニス：受皿の模索
- ◆卓球：受皿の模索
- ◆剣道：受皿の模索

##### 今後の課題と対応方針

###### 【課題】

- ・合同部活動として活動し、中体連大会（総体・新人戦）へ参加する競技が多く、学校部活動から離れられない現状。
- ・中学生の目標が中体連大会にある。
- ・教員の兼職兼業で指導者の責任所在。

###### 【対応方針】

- ・学校部活動からのスライド傾向があるため、指導者として教員頼みの面がある。そのためには、兼職兼業時の活動体制の構築が必要と思料する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
**ク：その他の取組**



### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組

##### 取組事項

##### ◆連絡管理アプリの試行導入

- ・ 無料トライアル版（1年間）
- ・ 8競技で利用

##### 取組の成果

- ◆生徒・チーム（学校）間だけのツールではなく、事務局でも統括管理
  - ・ 事務局からの一斉連絡
- ◆スケジュール管理の円滑化
  - ・ 同一チーム内及び事務局でスケジュールを共有（右図参照）

##### 今後の取組における課題と対応方針

- ◆どのようにアプリ内オプションを導入していくか
  - ・ アプリを利用して集金や勤怠管理が可能だが、別途料金が必要となる
- ◆DX化に伴い、ICTの重要性、必要性、利便性を説明していく

#### アプリ画面（スケジュール）

高萩市地域クラブ  
高萩市柔道スポーツ少…

2025年 5月 ▾ + 予定追加

| 月        | 火  | 水  | 木  | 金  | 土         | 日         |
|----------|----|----|----|----|-----------|-----------|
|          |    |    | 1  | 2  | 3         | 4<br>こども  |
| 5<br>水戸啓 | 6  | 7  | 8  | 9  | 10        | 11        |
| 12       | 13 | 14 | 15 | 16 | 17<br>午前練 | 18        |
| 19       | 20 | 21 | 22 | 23 | 24<br>茨城県 | 25<br>合同練 |
| 26       | 27 | 28 | 29 | 30 | 31        |           |

活動記録 スケジュール チーム連絡 目標管理 メニュー

## 2.実証内容と成果①

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

今年度、高萩市においては、学校部活動（運動部）が試行的なものを含めて、8競技すべてで取組んだ。

柔道は、令和5年度からスポーツ少年団が受皿となり、休日部活動の地域展開を実施している、また、「中学校体育大会における参加資格の特例」により中学校体育大会にも参加。

チーム競技の軟式野球、サッカー、バスケットボールは、市内3校の合同部活動として休日に活動し、中学校体育大会へも同様のかたちで参加するに留まった。

中学校体育大会が主たる参加大会であり、目標であるため、休日においても学校部活動から離れられないでいる。

休日において、学校管理下を離れた指導者を、どのように確保していくかを検討していく必要がある。

#### ●成果の評価

今年度は、休日部活動の地域展開を見据え、市内3中学校による合同部活動を継続的に実施したことで、学校の枠を越えた活動体制の有効性を確認することができた。特に、少子化に伴い単独校では活動の維持が難しくなりつつある競技において、合同で活動することにより生徒の活動機会を確保するとともに、多様な仲間との交流を通じた競技力向上や社会性の育成につながった。また、学校間の連携や教育委員会との情報共有を進めることで、休日の活動運営に関する課題や必要な支援について情報を蓄積することができた。

地域展開の本来の目的である「学校に依存しない持続可能な活動体制」の構築には至っていないが、地域指導者の確保・育成、運営主体の整備、責任の所在や安全管理体制の整理など、地域クラブ活動への移行に向けた課題が明確になったこともひとつの成果である。

#### ●今後に向けて

令和9年度からの休日部活動の地域展開実現に向け、今年度明らかとなった課題の解決を図りながら、段階的な地域展開を進めていく。具体的には、地域指導者及び運営スタッフの確保や育成を進めるとともに、地域クラブ認定制度の整備、活動団体への支援体制の構築を検討する。また、学校・保護者・地域団体等との連携を強化し、持続可能な地域スポーツ活動の環境整備を進める。さらに、合同部活動で培った学校間連携の成果を活かしながら、地域展開を段階的に進め、生徒が将来にわたってスポーツ活動に親しむことができる地域社会の実現を目指す。

## 2.実証内容と成果②

### 参考資料



【柔道】



【軟式野球】



【バスケットボール】



【サッカー】

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

競技会設置、  
検討開始

受皿団体や指  
導者の選定、拠  
点校の選定

生徒、保護者  
への説明

地域クラブ活動  
の開始

令和6年

地域クラブ活動  
の開始

令和7年

地域クラブ活動  
の拡大

●ステークホルダー

受皿団体

●経過

競技によっては受皿となる団体がなかった。

●実施にあたって生じた課題

中体連大会への参加がベースとなるため、学校部活動が主活動の場になってしまう。

●実施内容、工夫した点 等

マルチスポーツの重要性や先進国のマルチスポーツ事情を踏まえ、休日は別競技の活動も選択肢のひとつ。

●ステークホルダー

学校現場

●経過

生徒の減少により、競技によっては市内中学校合同部活動となる。

部活動の範囲のままなため、教員の関わりが生じる。

●実施にあたって生じた課題

チーム競技では、市内中学校合同チームとしての大会参加となり、合同部活動の意識が強い。

●実施内容、工夫した点 等

兼職兼業を含め、引き続き検討事項。

●ステークホルダー

地域指導員（スポーツ少年団）

●経過

柔道競技では、スポーツ少年団が受皿となっている。サッカー競技においては、段階的に地域展開を試験的に試みている。

●実施にあたって生じた課題

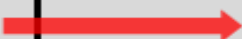
中体連大会参加要件等が煩雑である。  
受益者負担の適正額。

●実施内容、工夫した点 等

国、県の動向を引き続き注視。

### 3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

| 競 技                                       |            | R5  | R6                                                                                    | R7  | R8                                                                                    | R9                                                                                          |
|-------------------------------------------|------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学<br>校<br>部<br>活<br>に<br>あ<br>る<br>も<br>の | 軟式野球       | 実施中 |                                                                                       |     |                                                                                       | 全<br>て<br>の<br>休<br>日<br>部<br>活<br>動<br>に<br>お<br>い<br>て<br>地<br>域<br>展<br>開<br>の<br>実<br>現 |
|                                           | バ スケットボ ール | 実施中 |                                                                                       |     |                                                                                       |                                                                                             |
|                                           | 柔道         | 実施中 |    |     |                                                                                       |                                                                                             |
|                                           | 卓球         | 実施中 |                                                                                       |     |                                                                                       |                                                                                             |
|                                           | サッカー       |     | 実施中                                                                                   |     |                                                                                       |                                                                                             |
|                                           | バレーボ ール    |     | 実施中                                                                                   |     |                                                                                       |                                                                                             |
|                                           | ソフトテニス     |     | 実施中                                                                                   |     |                                                                                       |                                                                                             |
|                                           | 剣道         |     | 実施中                                                                                   |     |                                                                                       |                                                                                             |
|                                           | 吹奏楽        |     | 実施中                                                                                   |     |                                                                                       |                                                                                             |
| そ<br>の<br>他                               | ウエイトリフティング | 実施中 |  |     |                                                                                       |                                                                                             |
|                                           | スポ ーツ文化活動  |     |                                                                                       | 要検討 |  |                                                                                             |

令和7年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 茨城県北茨城市

自治体名：茨城県北茨城市

担当課名：生涯学習課

電話番号：0293-43-1111

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

|                                |                       |
|--------------------------------|-----------------------|
| 面積                             | 186.79km <sup>2</sup> |
| 人口                             | 38,278人               |
| 公立中学校数                         | 4校                    |
| 公立中学校生徒数                       | 859人                  |
| 部活動数<br>(運動部活動のみ)              | 14部活                  |
| 地域クラブ活動数                       | 15クラブ                 |
| 市区町村の協議<br>会・検討会議等<br>の設置状況    | 設置済                   |
| 市区町村の推進計<br>画・ガイドライン等の<br>策定状況 | 策定済                   |

## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

本市では、年々生徒数が減少してきたことと、様々な競技クラブの活動が活発化してきたこともあり、中学校で運動部に入部する生徒が激減してきている。このため、多くの競技で単独校で団体戦が組めない事態になっており、合同部活動を含め、地域展開を進めることは、生徒の活動の場を確保するために、たいへん重要だと考えている。

スポーツ協会、スポーツ少年団、地域の指導者等の協力もあり、令和7年度新人戦後から全ての運動部活動の地域展開が可能となった。吹奏楽部については令和8年度から市内の部活動顧問を中心に地域展開が実施予定。また、本市には総合型のスポーツクラブがなく、市教育委員会が主導する形の「行政主導型」で地域展開を進めているが、運営主体がないため担当課の業務量が増大してしまうことが課題にある。

令和4年度に検討委員会を立ち上げ、令和5年度は各中学校で1部活動は地域クラブへの移行を実施、令和6年度は兼職・兼業の教員や既存のクラブ、少年団、スポーツ協会の方々に協力を得ながら、新たに4つの地域クラブを立ち上げて8クラブで活動を行った。令和7年度の新人戦後からは、全運動部活動の休日の地域クラブへの地域展開が完全実施となった。

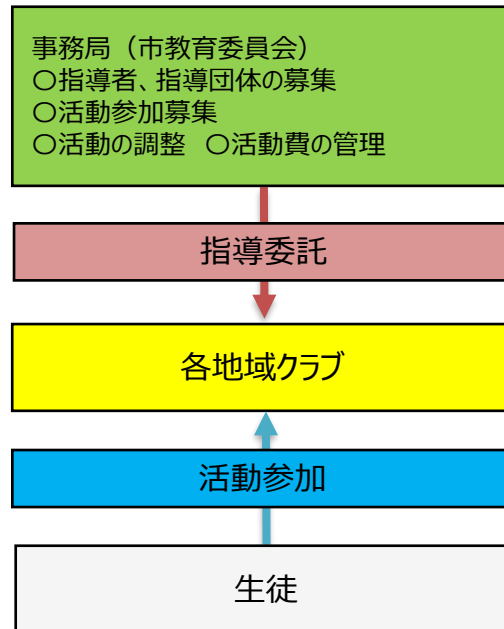
### 北茨城市生徒数の推移

| 年度     | 生徒数（人） | 年度    | 生徒数（人） |
|--------|--------|-------|--------|
| 平成27年度 | 1165   | 令和2年度 | 1004   |
| 平成28年度 | 1165   | 令和3年度 | 1013   |
| 平成29年度 | 1115   | 令和4年度 | 986    |
| 平成30年度 | 1072   | 令和5年度 | 945    |
| 令和元年度  | 1027   | 令和6年度 | 891    |

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

- ◎教育委員会（生涯学習課）
  - ・ クラブの監督
  - ・ 会計管理
  - ・ 新規クラブ開拓
- ◎教育委員会（学校教育課）
  - ・ 学校との折衝

### 年間の事業スケジュール

|         |                                                                          |
|---------|--------------------------------------------------------------------------|
| 令和7年 4月 | 地域クラブ活動開始                                                                |
| 令和7年 7月 | 第1回検討委員会                                                                 |
| 令和7年11月 | 第2回検討委員会<br>新設地域クラブと市内部活動競技<br>委員長との情報交換会<br>新人戦後から市内全運動部活動の<br>休日地域展開開始 |
| 令和8年2月  | 中学校ごとの新入生説明会での<br>地域展開説明<br>生徒、保護者、指導者、部活顧問<br>へのアンケート<br>第3回検討委員会       |
| 令和8年3月  | 令和8年度の新設地域クラブ<br>（吹奏楽および弓道）の登録                                           |

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|          |                                              |             |             |
|----------|----------------------------------------------|-------------|-------------|
| 中学校数     | 4校                                           | 実施した地域クラブ総数 | 15クラブ       |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（および移行された部活動数）             |             | 15クラブ（33部活） |
|          | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） |             | 0クラブ        |
| 全体の指導者数  | 57人                                          | 全体の運営スタッフ数  | 0人          |

#### ②各クラブに関すること

| クラブ名     | 運営団体種別 | 種目<br>※新規のものは末尾に（新）を付ける | 実施回数  | 実施時間帯           | 参加者<br>（学年別）               | 実施期間     | 活動場所                    | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>（他クラブと兼務） | 会費 | 大会参加方法             |
|----------|--------|-------------------------|-------|-----------------|----------------------------|----------|-------------------------|------|----------------------|----|--------------------|
| 磯原体操スクール | 市教育委員会 | 体操                      | 月2回程度 | 土日どちらか午前中       | 3年 8人<br>2年 3人<br>1年 6人    | 令和5年5月～  | 磯原中学校<br>滑川スポーツクラブ      | 2人   | 0人                   | 0円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| 中郷卓球クラブ  | 市教育委員会 | 卓球                      | 月4回程度 | 土日どちらか午前中       | 3年 6人<br>2年 9人<br>1年 6人    | 令和5年11月～ | 中郷中学校                   | 2人   | 0人                   | 0円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| JIN      | 市教育委員会 | 軟式野球                    | 月4回程度 | 土日どちらかおよび祝日の午前中 | 3年 11人<br>2年 10人<br>1年 10人 | 令和6年4月～  | 中郷中学校<br>磯原中学校<br>常北中学校 | 10人  | 0人                   | 0円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |

## 2.実証内容と成果

| クラブ名         | 運営団体種別 | 種目<br>※新規のものは末尾に<br>(新)を付ける | 実施回数  | 実施時間帯           | 参加者<br>(学年別)               | 実施期間     | 活動場所           | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>(他クラブと兼務) | 会費 | 大会参加方法             |
|--------------|--------|-----------------------------|-------|-----------------|----------------------------|----------|----------------|------|----------------------|----|--------------------|
| 北茨城ソフトテニスクラブ | 市教育委員会 | ソフトテニス                      | 月3回程度 | 土日どちらか午前中       | 3年 11人<br>2年 17人<br>1年 15人 | 令和5年5月～  | 関本中学校<br>常北中学校 | 6人   | 0人                   | 0円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| NIB          | 市教育委員会 | ソフトテニス                      | 月3回程度 | 土日どちらか午前中       | 3年 9人<br>2年 19人<br>1年 9人   | 令和6年8月～  | 中郷中学校<br>磯原中学校 | 4人   | 0人                   | 0円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| NIG          | 市教育委員会 | ソフトテニス                      | 月3回程度 | 土日どちらか午前中       | 3年 5人<br>2年 9人<br>1年 13人   | 令和6年8月～  | 中郷中学校<br>磯原中学校 | 5人   | 0人                   | 0円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| 中郷柔道スポーツ少年団  | 市教育委員会 | 柔道                          | 月4回程度 | 土日どちらかおよび祝日の午前中 | 2年 2人                      | 令和6年8月～  | 中郷中学校          | 5人   | 0人                   | 0円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| 北茨城陸上クラブ     | 市教育委員会 | 陸上                          | 月4回程度 | 土日どちらかおよび祝日の午前中 | 3年 9人<br>2年 5人<br>1年 6人    | 令和7年6月～  | 中郷中学校          | 5人   | 0人                   | 0円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| 明德剣道         | 市教育委員会 | 剣道                          | 月4回程度 | 日午前中            | 3年 1人<br>2年 5人<br>1年 1人    | 令和7年11月～ | 明德小学校          | 4人   | 0人                   | 0円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |

## 2.実証内容と成果

| クラブ名          | 運営団体種別 | 種目<br>※新規のものは末尾に<br>(新)を付ける | 実施回数  | 実施時間帯           | 参加者<br>(学年別)     | 実施期間     | 活動場所                    | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>(他クラブと兼務) | 会費 | 大会参加方法             |
|---------------|--------|-----------------------------|-------|-----------------|------------------|----------|-------------------------|------|----------------------|----|--------------------|
| 関本バドミントン      | 市教育委員会 | バドミントン                      | 月4回程度 | 土日どちらか午前中       | 2年 3人<br>1年 1人   | 令和7年11月～ | 関本中学校                   | 1人   | 0人                   | 0円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| 北茨城JVC        | 市教育委員会 | バレーボール                      | 月4回程度 | 土日どちらかおよび祝日の午前中 | 2年 21人<br>1年 15人 | 令和7年12月～ | 中郷中学校<br>磯原中学校<br>常北中学校 | 6人   | 0人                   | 0円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| Vesta         | 市教育委員会 | バスケットボール                    | 月4回程度 | 土日どちらかおよび祝日の午前中 | 2年 11人<br>1年 8人  | 令和7年12月～ | 中郷中学校<br>磯原中学校<br>常北中学校 | 6人   | 0人                   | 0円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| 常北サッカースポーツ少年団 | 市教育委員会 | サッカー                        | 月4回程度 | 土日どちらかおよび祝日の午前中 | 2年 8人<br>1年 9人   | 令和7年12月～ | 常北中学校                   | 2人   | 0人                   | 0円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| 北茨城FC         | 市教育委員会 | サッカー                        | 月4回程度 | 土日どちらかおよび祝日の午前中 | 2年 4人<br>1年 16人  | 令和7年12月～ | 中郷中学校<br>磯原中学校          | 1人   | 0人                   | 0円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |
| 磯中卓球地域クラブ     | 市教育委員会 | 卓球                          | 月4回程度 | 土日どちらか午前中       | 2年 8人<br>1年 10人  | 令和8年1月～  | 磯原中学校                   | 1人   | 0人                   | 0円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |

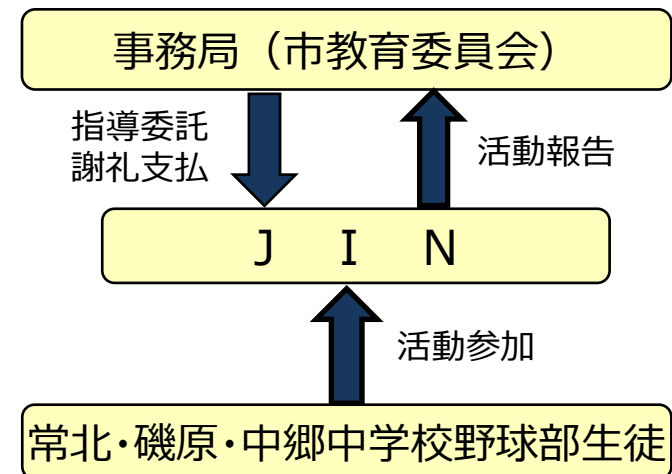
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●JIN 活動概要

|                 |                                                              |
|-----------------|--------------------------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | 野球                                                           |
| 運営団体名           | 市教育委員会                                                       |
| 期間と日数           | 野球：月4回程度                                                     |
| 指導者の主な属性        | スポーツ少年団指導者、教員（兼職・兼業）                                         |
| 活動場所            | 常北中学校、磯原中学校、中郷中学校                                            |
| 主な移動手段          | 自転車、保護者送迎                                                    |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 0円                                                           |
| 1人あたりの保険料       | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年<br>指導者1人あたり：1,850円/年<br>※保険料は市が負担 |

#### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



#### ●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

- 統括責任者・主任指導者  
役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う
- 指導者 9名  
役割：活動において、主任指導者の補助として指導を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備①

##### 取組事項

生徒、保護者、指導者、部活動顧問へアンケートを行う。

地域展開した地域クラブには、市教育委員会が事務局として、指導助言や指導者への研修を行う。

新たに地域展開する地域クラブには市の各競技委員長との情報交換会を事務局立ち会いのもと行う。

地域クラブの学校施設利用の調整は事務局が行う。

##### 取組の成果

アンケート調査を実施したことにより、生徒、保護者、指導者のニーズを知ることができ、その後の改善につながった。学校部活動の顧問にアンケート調査を実施し、事務局への要望がわかり、今後のクラブ運営につながった。

市の少年団指導者研修会および茨城県地域クラブ活動指導者向けオンデマンド研修を活用し、指導者への研修を行った。年間を通して指導に関する問題はなかったが、熱中症予防等の注意喚起等を行った。

情報交換会によって生徒の地域クラブ体験の調整等が迅速に行われた。

地域クラブの学校施設利用の調整は事務局が調整を行った（令和7年度は令和8年3月31日利用分まで）。

#### 令和7年度の研修会①

|     |              |
|-----|--------------|
| 実施日 | 令和8年3月14日（土） |
| 場所  | 複合防災センター     |
| 主催  | 事務局          |
| 内容  | インテグリティについて  |
| 参加者 | 28人          |

#### 令和7年度の研修会②

|      |                 |
|------|-----------------|
| 実施日  | 令和8年3月1～31日     |
| 開催方法 | オンライン（オンデマンド形式） |
| 主催   | 茨城県教育委員会        |
| 内容   | 10テーマからの選択      |
| 方法   | 15地域クラブへの研修案内   |

#### 今後の課題と対応方針

令和8年度4月から開始の地域クラブ（吹奏楽および弓道）の指導者との情報交換会が必要。

アンケートの結果の中で、学校での練習だけではなく競技場等の練習も行いたいという内容もあり、全クラブへの施設利用の補助も視野に入れていく。

兼職・兼業について前向きな回答が教員からも見受けられた。

令和8年度の部活動や地域クラブの大会等の参加についても、明確な参加要件等について学校および地域クラブへ周知していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備②

地域クラブにおける事故発生時の連絡体制について

【事故等発生時の報告】

○当日

- ① 指導者から保護者へ直ちに連絡
- ② 指導者から市役所日直へ連絡
- ③ 市役所日直から生涯学習課地域クラブ担当へ連絡  
※担当が不在の場合は係長または課長へ連絡
- ④ 生涯学習課(担当)が指導者へ連絡し詳細を聴取
- ⑤ 聴取後、生涯学習課(担当)から学校教育課(課長)へ報告  
※課長が不在の場合は課長補佐へ連絡
- ⑥ 学校教育課(課長)から校長へ報告

○翌明け

- ⑦ 生涯学習課担当から指導者へ連絡

【保険手続き】

- ・詳細を聴取
- ・保険用事故報告書作成し保険会社へ報告

【連絡方法】0293-43-1111 北茨城市役所

○市役所日直に、地域クラブ名、指導者名を伝え、生涯学習課担当へ連絡するよう依頼

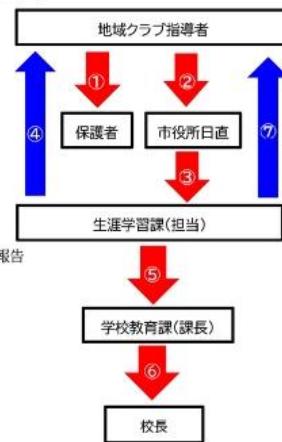
その後、生涯学習課担当から指導者へ連絡し、詳細を聞き取る

【その他】

- 病院での診察の際は、スポーツ保険を使用するため、必ずマル福を使用してください
- 施設の破損等があった場合にも同様に報告
- 生徒のことにに関して、気になる点、トラブル等あった場合にも同様に報告
- 平日は直接教育委員会(学校教育課または生涯学習課)へ報告

【適用開始日】令和8年4月1日から適用開始

問い合わせ先 生涯学習課 0293-43-1111



#### 運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

地域クラブ、学校、市（事務局）の事故発生時の連絡体制について報告の順序および連絡方法を統一し、地域クラブおよび学校へ周知を行った。

また、施設の破損等があった場合も同様に報告をする旨周知を行った。生徒の事に関して、気になる点、トラブル等があった場合にも同様に報告する旨依頼を行った。

#### 地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

地域クラブ活動中の緊急搬送時の連絡体制について、左図のとおり各地域クラブおよび市内中学校へ周知を行った。

緊急時には当日中に必ず市の事務局へ連絡がとれる体制を構築した。生徒間のトラブルに関しても同様の市の事務局へ連絡が取れることを周知することにより、指導者の負担軽減を図った。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

指導者への研修を行い、指導者としての資質を向上させる。

指導者には登録時に各競技についての指導資格や指導歴について確認し、それを基に指導者委託をする。

指導者の数については、市内の少年団や各競技の協会へ指導依頼を続けていく。

##### 取組の成果

指導者研修会「インテグリティについて」を行い、28人の参加があった。

茨城県地域クラブ活動指導者向けオンデマンド研修を活用し、指導者への研修を行った。

今年度の登録した指導者57人については指導資格や指導歴を確認してから指導者委託をしたため、安心して指導を任せられた。また、生徒によるアンケート結果で、期待している点を回答した生徒は「専門的な指導を受けられるという」回答が一番多い結果となった。

地域クラブで指導者のトラブルは発生しなかった。

地域クラブに参加した生徒の回答 令和8年2月実施

○地域クラブに期待している点（複数選択可能）

|                  |     |
|------------------|-----|
| 専門的な指導を受けられる     | 41% |
| 学校の枠を超えた交流活動ができる | 29% |
| 活動の選択肢が広がる       | 29% |
| 教員の負担が軽減される      | 24% |
| その他              | 6%  |

##### 【保護者の声】

- ・教員以外の指導を受けられ、学びになっている。
- ・指導者はよくやっていただけているので練習試合をどんどんやっていただけると子ども達も発揮する機会が増えてやりがいが出てくるのではないかな。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の内容①

【研修】「インテグリティについて」

講師：茨城ロボッツ

東 真一郎 様

スクールディレクター兼U15女子コーチ

対象：北茨城市地域クラブ指導者

北茨城市スポーツ少年団指導者

内容：子どもたちに「楽しい」を提供する。

～キッズサポートリーダーとして伝えたいこと～

インテグリティを知る

##### 指導者研修①の参加実績

- ・開催日：3月14日
- ・開催回数：1回
- ・参加人数：28人

##### 指導者研修の内容②

【研修】茨城県地域クラブ活動指導者向けオンデマンド研修

開催方法：オンライン（オンデマンド方式）

対象：北茨城市地域クラブ指導者

テーマ（選択制）：

|                                |
|--------------------------------|
| スポーツ・文化活動の意義、仲間の大切さ            |
| コンプライアンスの徹底、体罰ハラスメント及び不適切行為の根絶 |
| 指導者の役割と心構え                     |
| 中学生時期の心身の発育発達                  |
| 主体的な態度をはぐくむ目標の設定、評価やフィードバック    |
| 安全管理のための活動計画立案と施設・用具の管理        |
| 救急措置・事故対応                      |
| 保護者等への対応                       |
| IT・デジタル技術の活用                   |
| 学校と地域の連携                       |

##### 今後の課題と対応方針

指導者に対して、資質向上のための研修の受講や資格取得を促進する。

ハラスメント防止および救急措置等の子どもの安全配慮の周知または研修は今後も発信を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

筑波大学の長谷川悦示准教授をオブザーバーとして、部活動の地域展開に関する検討委員会を開催し、進め方を検討する。

学校と連携して進めていくため、中学校校長と本市の取組および今後の見通し等の説明を実施。

市内の少年団や各競技の協会、地域の指導に対し、指導依頼を続ける。

各方面からの検討課題を集約し、地域に合った活動ができるように整備する。

##### 取組の成果

検討委員会を年3回実施した。これによりそれまでの取組の振り返りと、アンケート調査の結果をもとに今後の進め方の再確認ができた。

学校に協力してもらい、生徒と保護者に地域クラブについてのチラシを配布した。新入生説明会でクラブの周知をする機会を得た。

少年団、スポーツ協会、地域の指導者の協力のもと、令和7年度は陸上、サッカー、バレーボール、バスケットボール、剣道、バドミントン、卓球の新規クラブが設立され、運動部活動の完全地域展開が完了した。

##### 今後の課題と対応方針

指導者、事務局、学校とで更なる連携強化を図る。

指導者確保のため、学校、保護者だけでなく、関係団体へも地域クラブの活動について再度周知し、協力をいただけるよう努めていく。学校教員への兼職・兼業の周知を行い、更なる指導者への協力体制を整えた。

##### ●第1回 検討委員会

- (1) 北茨城市部活動の地域移行に関する検討委員会の組織について
- (2) 地域移行を実施している地域クラブに関する現況について
- (3) 令和7年度の移行の見通しについて

##### ●第2回 検討委員会

- (1) 令和7年度に実施している地域クラブの現状について
- (2) 令和7年度の地域展開の予定について
- (3) 令和8年度における大会前の学校部活動特例について

##### ●第3回 検討委員会

- (1) 事故発生時の連絡体制について
- (2) 次年度における中体連等の大会参加前の学校部活動について
- (3) 地域展開を実施している地域クラブに関する現況について
- (4) 部活動地域展開に関するアンケート調査の結果について
- (5) 令和8年度の地域展開の見通しについて

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

指導者の謝礼、生徒の保険代、地域クラブの消耗品代については本来は受益者負担であるが、当面は市から補助を出すことにより無償化していく。ただし大会参加費、遠征費は除く。

##### 地域クラブに係る経費

###### ■イニシャルコストの分析

システム整備に係る費用（なし）  
ホームページ構築費用（なし）  
事務用品（なし）

###### ■ランニングコストの分析

会場借料（12千円）  
指導者謝金（3,344千円）  
事務局人件費（なし）  
消耗品費（634千円）  
指導者交通費（274千円）

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算を行った。  
（検証結果の詳細は次ページ参照）

##### 収支バランス

地域スポーツクラブ活動の運営や指導者配置等に必要なコストを検証するとともに、こうしたコストをどのように賄っていくかについて受益者負担等と公的資金との適切なバランスも含めて収支構造を検討する。

現在は指導者謝礼等は事務局負担としているが、今後受益者負担に移行していく際の1家庭当たりの負担についても今後検討する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

##### 取組の成果

当市は地域クラブを受益者負担にしておらず、地域展開に関するアンケート回答（保護者）のうち大会参加や旅費等の負担が家庭の負担となっているという回答は2%であった。今後の大会参加、旅費等の費用負担について可能・問題ないは77%、負担であるは23%であった。

今年度は該当する部活動に加入している生徒のうち44%の生徒が地域クラブに加入した。

（割合は新人戦後の募集もあり3年生も含んだ数であるが、1、2年生の加入率70%）

令和9年度以降、参加料を徴収する場合の試算は右図のとおり。

| 項目           |       | 費用        |
|--------------|-------|-----------|
| スポーツ活動費      |       | 4,262,062 |
|              | 指導者謝金 | 3,343,200 |
|              | 会場使用料 | 12,000    |
|              | 消耗品費  | 633,572   |
|              | 交通費   | 273,290   |
| スポーツ活動費（保険料） |       | 361,050   |
|              | 生徒    | 260,800   |
|              | 指導者   | 100,250   |

※保険料は自己負担とする

|   |        |                     |
|---|--------|---------------------|
| ① | 活動月数   | 10ヶ月<br>(クラブにより異なる) |
| ② | 申込者数   | 326人                |
| ③ | 延べ参加者数 | 3,588人              |

#### 案①「スポーツ活動費すべてを受益者負担」

月謝（申込者全員負担）

1,308円／月 根拠：費用／①／②

1回ごと（参加者のみ負担）

1,187円／月 根拠：費用／③

#### 案②「指導者謝金のみ受益者負担」

月謝（申込者全員負担）

1,026円／月 根拠：費用／①／②

1回ごと（参加者のみ負担）

932円／月 根拠：費用／③

##### 今後の課題と対応方針

令和8年度当初にはすべての部活動の地域展開が完了予定である。市では持続可能な地域クラブの地域展開を行うにあたり「受益者負担をさせない」市の財源負担について市民へ市報やHP等で周知し、今後の取組に対して地域の理解を得ていく必要がある。

今後の受益者負担の可能性も踏まえ、低廉な受益者負担を探りつつ、学校、市民、地域、および市で持続的に活動することを前提とした仕組み作りを引き続き行う予定である。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

生徒の安全を確保し、保護者の送迎の負担軽減を図るため、学校体育施設を中心に実証事業の活動を実施するよう調整を行う。

3校合同チームがあり、毎週の送迎の負担軽減を図るため、それぞれの学校で週交代で活動を行う。

##### 取組の成果

全313回の活動において、約71%は、学校体育施設を利用した活動となった。

昨年よりも対外試合の参加が増えたため学校外体育施設の利用が増加した。

保護者にアンケート調査を行ったところ、送迎の可否についての回答が常に送迎が可能であるが35.5%、条件付で送迎が可能であるが51.6%、送迎は困難であるが12.9%であった。

自力で移動できる範囲を希望する一方、学校の施設だけではなく競技場等の施設利用の要望もみられた。

##### 今後の課題と対応方針

地域展開の活動日に部活動として大会参加を行う学校も見られることから、学校から地域クラブへ連絡を行うよう周知しており、部活動と地域展開の活動を調整できるよう事業の理解を求める。令和7年度新人戦以降は、学校施設利用の調整を事務局が行っており、地域クラブの開始週の統一や学校施設使用不可期間等の課題に対して地域クラブおよび学校との調整を随時行う。

#### 保護者のアンケート調査の回答 令和8年2月実施

##### ○送迎の可否について

|              |       |
|--------------|-------|
| 常に送迎が可能である   | 35.5% |
| 条件付で送迎が可能である | 51.6% |
| 送迎は困難である     | 12.9% |

##### ○自由記述

- 子ども達が自力で移動できる範囲であると嬉しいです。練習場所や試合会場が自宅からも駅からも遠い場合、保護者送迎がマストになってくると負担が大きく対応できない時があります。
- 学校の練習だけではなく競技場での練習もさせたい。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和5年から移行を開始し、令和7年度の新人戦以降には全ての運動部活動の休日部活動が地域展開を開始できた。

令和8年度には文化部の吹奏楽部と学校部活動にはないがアンケートで希望が多かった弓道が休日の地域クラブとして加わり、全ての地域展開が行われることとなる。

地域クラブ数が増えたことにより地域クラブ、学校、事務局のそれぞれの調整が多くなっていることから、事故の連絡体制の周知やアプリを使用した効率的な連絡体制を構築していく必要がある。

今後生徒数が減少していくことを考え、地域クラブを継続して運営していくために、クラブの参加料を徴収する可能性があるため、保護者への周知を徹底していかねばならない。また、部活から地域クラブへ地域展開して終了ではなく、指導者の質の向上をはじめ地域クラブ運営の効率化を図る。

#### ●成果の評価

アンケート調査を行ったことによって、生徒、保護者、指導者、部活動顧問の求めていることがわかり、今後のクラブ運営の方法や、課題が明確になった。

指導経験の豊富な指導者に委嘱したこともあり、生徒や保護者からのアンケートで「期待している点」では専門的な指導を受けられるという回答が一番多数であった。

#### ●今後に向けて

令和8年度は学校部活動の種目でない弓道の新規クラブを設立し、持続的にスポーツ・芸術文化活動ができる環境を整備し、生徒の選択肢を増やす方針。文化部活動の吹奏楽部の地域展開も始まるため、今後も生徒、保護者、指導者、部活動顧問の意見を集約しながら地域クラブを運営していく。

## 2.実証内容と成果②

### アンケート結果・参加者/関係者の声

#### ●アンケート結果

Q1.来年も地域クラブに参加したいと思いますか？（生徒）

|              |       |
|--------------|-------|
| 非常に続けたい      | 52.9% |
| できれば続けたい     | 29.4% |
| 続けるかどうか迷っている | 17.6% |
| やめたい         | 5.9%  |

Q2.Q1の理由（生徒）  
※複数選択可能

|              |       |
|--------------|-------|
| 活動が楽しい       | 88.2% |
| 友人がいる        | 64.7% |
| 移動が大変である     | 17.6% |
| 指導者が合わない     | 5.9%  |
| 不安が改善されるかによる | 5.9%  |

Q3.不安・課題とを感じる点（指導者）  
※複数選択可能

|              |       |
|--------------|-------|
| 旅費が家庭の負担となる  | 14.3% |
| 指導者の指導力・指導体制 | 14.3% |
| 移動・送迎問題      | 14.3% |
| 緊急連絡体制・安全管理  | 14.3% |
| 人間関係         | 10.7% |
| 生徒間の技術格差     | 7.1%  |

Q4.不安・課題とを感じる点（部活動顧問）  
※複数選択可能

|              |       |
|--------------|-------|
| 移動・送迎問題      | 26.7% |
| 指導者の指導力・指導体制 | 20.0% |
| 人間関係         | 20.0% |
| 緊急連絡体制・安全管理  | 13.3% |
| 旅費が家庭の負担となる  | 13.3% |
| 生徒間の技術格差     | 13.3% |

#### ●参加者/関係者の声

##### 生徒

活動の会場が隔週で変わっても、大会の日程で仕方がないとしてもどちらかに行く頻度が多くなる気がします。

##### 保護者

現在は市が負担してくれているため無料で活動しているが、もし今後自己負担になった場合、負担する金額や、選ぶ活動によって差が出ることに不安を感じる。

##### 指導者

休日の大会等への参加を地域クラブ単位でやるようになると、大会運営をするための人員が足りなくなる。

##### 部活動顧問

地域展開に教員が兼職兼業という形で参加するようだが、従来通りの顧問としての部活動の関わりを臨みたい。勝利至上主義ではないが、まだまだ部活動に積極的に関わりたいと考えている教員は少なくないはず。生徒も部活動にもっと力を入れたいと考えている生徒もまだいるはず。削減削減ばかりで、もっと違うところで働き方改革を見直し、部活動の良さや必要性を残していきたい。

## 2.実証内容と成果③

### 広報資料

令和8年3月

## 北茨城市休日部活動の地域展開

活動している地域クラブ（令和8年度も継続）※名称が変更になる場合があります

|                |                  |                          |
|----------------|------------------|--------------------------|
| ■磯原体操スクール(体操)  | ■中郷卓球クラブ(卓球)     | ■北茨城ソフトテニスクラブ(ソフトテニス)    |
| ■NIB(男子ソフトテニス) | ■NIG(女子ソフトテニス)   | ■中郷柔道スポーツ少年団(柔道)         |
| ■JIN(軟式野球)     | ■北茨城陸上クラブ(陸上)    | ■北茨城JVC(バレーボール)          |
| ■明徳剣道(剣道)      | ■Vesta(バスケットボール) | ■関本バドミントントクラブ(バドミントン)    |
| ■磯原卓球地域クラブ(卓球) | ■北茨城F.C(サッカー)    | ■常北ジュニアサッカースポーツ少年団(サッカー) |

**令和8年度から  
休日の学校部活動は  
完全になくなります！**

令和8年度 新設する地域クラブ

■(仮)吹奏楽クラブ  
■北茨城弓道地域クラブ

| 活動日数・活動時間               | 活動場所                     | 指導者                       |
|-------------------------|--------------------------|---------------------------|
| ・土日いずれか及び祝日<br>・1日3時間以内 | ・学校施設<br>・地域クラブ運営団体の活動場所 | ・スポーツ少年団<br>・スポーツ協会加盟団体 等 |

平日と違う種目を  
やってみたい！

楽しく体を  
動かしたい！

平日の部活と同じ種目を  
頑張りたい！

違う学校の仲間を作りたい！

令和8年度からは  
好きな地域クラブを選ぶ  
ことができるよ！

休日は自分の時間を  
過ごしたい！

**Q** 地域クラブに参加するにはどうすればいいの？

**A** 「地域クラブ」の入会届を配付します。入会届を提出すれば参加できます。好きなクラブを選んで入会することができます。

**Q** 途中で辞められるの？

**A** 辞められます。退会届を教育委員会へ提出してください。違うクラブへ入会することも可能です。ただし、同時に2つ以上のクラブに所属することはできません。

**Q** クラブチームに所属するようなの？

**A** 地域クラブはクラブチームとは異なります。地域クラブに入会しても、クラブチーム等に所属する必要はありません。

**Q** お金はかかるの？

**A** 現在のところ、指導者への謝礼や保険料は市が負担します。ただし、遠征費、大会参加費などの費用がかかる場合があります。

■お問合せ■ 北茨城市教育委員会 生涯学習課・学校教育課 ☎ 0293-43-1111

### 協議

(3) 令和8年度の地域展開の見通しについて

### 令和8年度 地域クラブ一覧

| 地域クラブ            | 競技       | 指導団体等           |
|------------------|----------|-----------------|
| JIN              | 軟式野球     | スポーツ少年団、部活動顧問等  |
| 北茨城F.C           | サッカー     | 元中学校コーチ         |
| 常北Jr.サッカースポーツ少年団 | サッカー     | スポーツ少年団、中学校コーチ等 |
| Vesta            | バスケットボール | クラブチーム          |
| NIB              | ソフトテニス   | ソフトテニス協会        |
| NIG              | ソフトテニス   | ソフトテニス協会        |
| 北茨城ソフトテニスクラブ     | ソフトテニス   | ソフトテニス協会        |
| 北茨城JVC           | バレーボール   | 元中学校外部コーチ等      |
| 中郷卓球クラブ          | 卓球       | 市職員、部活動顧問等      |
| 磯中卓球地域クラブ        | 卓球       | 学校教諭            |
| 中郷柔道スポーツ少年団      | 柔道       | 市職員、スポーツ少年団等    |
| 明徳剣道             | 剣道       | 明徳剣道            |
| 北茨城陸上クラブ         | 陸上       | 部活動顧問、クラブチーム等   |
| 磯原体操スクール         | 体操       | 部活動顧問、クラブチーム等   |
| 関本バドミントントクラブ     | バドミントン   | 学校教諭            |
| 吹奏楽地域クラブ(仮称)     | 吹奏楽      | 部活動顧問等          |
| 弓道地域クラブ(仮称)      | 弓道       | 弓道連盟            |

### 令和8年度の地域クラブについて

全生徒が、どの地域クラブにも入会可能。

吹奏楽地域クラブ(仮称)の新設⇒市内の部活顧問が主体となる。

弓道地域クラブ(仮称)の新設⇒市内の弓道連盟の協力が主体となる。

### 【生徒・保護者への広報資料】

### 【検討委員会資料】

## 2.実証内容と成果④

### 活動写真



【指導の様子】



【指導の様子】



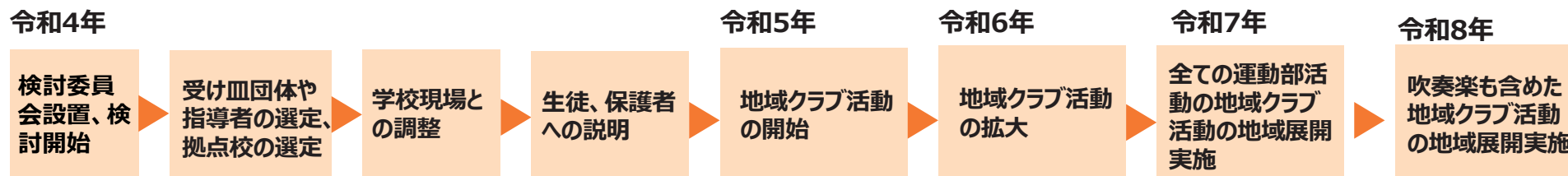
【指導者研修会の様子】



【指導者研修会の様子】

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ステークホルダー

学校、スポーツ協会、競技団体、市教委  
経過

令和4年度より検討委員会を設置。移行パターン、開始時期の確認、保護者への周知方法の確認、令和5年度以降開始部活動の決定を行った。令和4年11月22日から各スポーツ団体の代表者へ説明と協力依頼を実施。令和5年2月に各中学校における新入生説明会にて地域移行について説明。令和5年から地域移行を開始し、令和6年度以降からクラブを拡大していくために、令和5年8月に各競技の市中体連専門委員長と面談を実施。令和7年では新人戦後に全運動部活動の地域展開を実施した。

#### 実施内容

令和5年5月から市内4中学校の1部活動において、地域クラブ活動を開始した。令和6年度は4つの新規地域クラブが活動を開始し、全7クラブとなった。この内、4つのクラブは3つの中学校の生徒が参加する形態である。令和7年度には33の運動部活動全てが15の地域クラブへ地域展開された。

#### 実施にあたって生じた課題

令和7年度当初は7つの地域クラブであったが、新人戦後に全運動部活動の地域展開が開始となるため、不安要素を払拭すべく、新しい地域クラブ指導者と中学校の各競技委員長との情報交換会を行い、懸念事項や体験入会等の情報交換会を事務局同席のもと開催した。学校の施設利用に当たっての調整は土曜日の午前中の要望が多く、練習試合を設定する等の配慮が必要であり、競技ごとに同じ曜日と時間にする等の調整を行った。

#### 今後の展開

令和8年度からは、吹奏楽と弓道の地域クラブが新設予定。また、全生徒が好きな地域クラブを選んで入会することが可能となる。令和8年度についても、保護者の経済的負担を減らすため、受益者負担は取らない方針。今後とも保護者の理解を得るために、地域クラブの紹介パンフレット等を作成し周知していく。

### 3.今後の方向性

#### 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

##### 北茨城市教育委員会 部活動の地域展開スケジュール（案）

|             |           | 令和4年度                                                                                                                                                                                     | 令和5年度                                                                                                                                                                       | 令和6年度                                                                                                                                                      | 令和7年度                                                                                                                                                                                    | 令和8年度                                                                                                                       |
|-------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域展開<br>部活動 | 地域展開完了目標数 | 0                                                                                                                                                                                         | 各学校1部活動                                                                                                                                                                     | 各学校の半数の部活動                                                                                                                                                 | 各中学校全部活動                                                                                                                                                                                 | 各中学校全部活動                                                                                                                    |
|             | 中郷中学校     |                                                                                                                                                                                           | 女子卓球                                                                                                                                                                        | 野球、男女ソフトテニス、男女卓球、柔道                                                                                                                                        | 全運動部活動、<br>吹奏楽                                                                                                                                                                           | 全運動部活動、<br>吹奏楽                                                                                                              |
|             | 磯原中学校     |                                                                                                                                                                                           | 体操                                                                                                                                                                          | 野球、男女ソフトテニス、卓球                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                             |
|             | 常北中学校     |                                                                                                                                                                                           | 柔道                                                                                                                                                                          | 野球、男女ソフトテニス                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                             |
|             | 関本中学校     |                                                                                                                                                                                           | ソフトテニス                                                                                                                                                                      | ソフトテニス                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                             |
|             |           |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                             |
| 事務局         |           | 学校教育課                                                                                                                                                                                     | 学校教育課                                                                                                                                                                       | 生涯学習課                                                                                                                                                      | 生涯学習課                                                                                                                                                                                    | 生涯学習課                                                                                                                       |
| 事務局活動内容     |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動部活動の地域移行に関する検討委員会設置</li> <li>・意識調査の実施</li> <li>・生徒、保護者への周知</li> <li>・地域クラブに関する方針策定</li> <li>・地域クラブ活動事業立ち上げ</li> <li>・令和5年度地域クラブ選定、承認</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域クラブの運営</li> <li>・運動部活動の地域移行に関する検討委員会</li> <li>・意識調査の実施</li> <li>・生徒、保護者への周知</li> <li>・指導者の選定</li> <li>・令和6年度地域クラブ選定、承認</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域クラブの運営</li> <li>・運動部活動の地域移行に関する検討委員会</li> <li>・意識調査の実施</li> <li>・生徒、保護者への周知</li> <li>・令和7年度地域クラブ選定、承認</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域クラブの運営</li> <li>・運動部活動の地域展開に関する検討委員会</li> <li>・意識調査の実施</li> <li>・新規地域クラブの登録・地域展開活動開始</li> <li>・生徒、保護者への周知</li> <li>・令和8年度地域クラブ選定、承認</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度始めより全運動部活動および吹奏楽の地域クラブ開始</li> <li>・部活動にはない弓道の地域クラブ開始</li> <li>・地域クラブ運営</li> </ul> |

令和7年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 茨城県笠間市

自治体名：茨城県笠間市

担当課名：笠間市教育委員会教育部学務課

電話番号：0296-77-1101（内線：376）

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

|                                |                      |
|--------------------------------|----------------------|
| 面積                             | 240.4km <sup>2</sup> |
| 人口                             | 70,173人              |
| 公立中学校数                         | 6校                   |
| 公立中学校生徒数                       | 1,758人               |
| 部活動数<br>(運動部活動のみ)              | 55部活                 |
| 地域クラブ活動数                       | 51クラブ                |
| 市区町村の協議<br>会・検討会議等<br>の設置状況    | 地域部活動展開<br>検討委員会設置   |
| 市区町村の推進計<br>画・ガイドライン等の<br>策定状況 | 推進計画策定中<br>ロードマップ策定  |

## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

現在市内には、中学校が5校、義務教育学校が1校あるが、少子化の影響と部活動の自由参加により部員数が減少傾向にある。チームとしての参加人数に達しない学校は、他校との合同チームで参加している状況である。また、部員減少から学校として部活動数の見直しを進め、新入生の募集を行わない部活動も出てきた。やりたい活動の募集停止を受け、市外のクラブに所属する生徒も出ている。一昨年から2つの部活動が廃部となっている。

また、競技経験のない教員の指導に係る負担や長時間労働等指導者の負担も増している。  
部員不足や指導者の負担増等から従来の部活動の維持が困難になっている。

平成17年度 生徒数2,293人  
平成27年度 生徒数2,100人  
令和 7年度 生徒数1,758人  
18年前から535人減

部活動全体  
令和6年度 生徒数 1,884人  
部員数 1,622人  
加入率 86%  
令和7年度 生徒数 1,758人  
部員数 1,541人  
加入率 88%

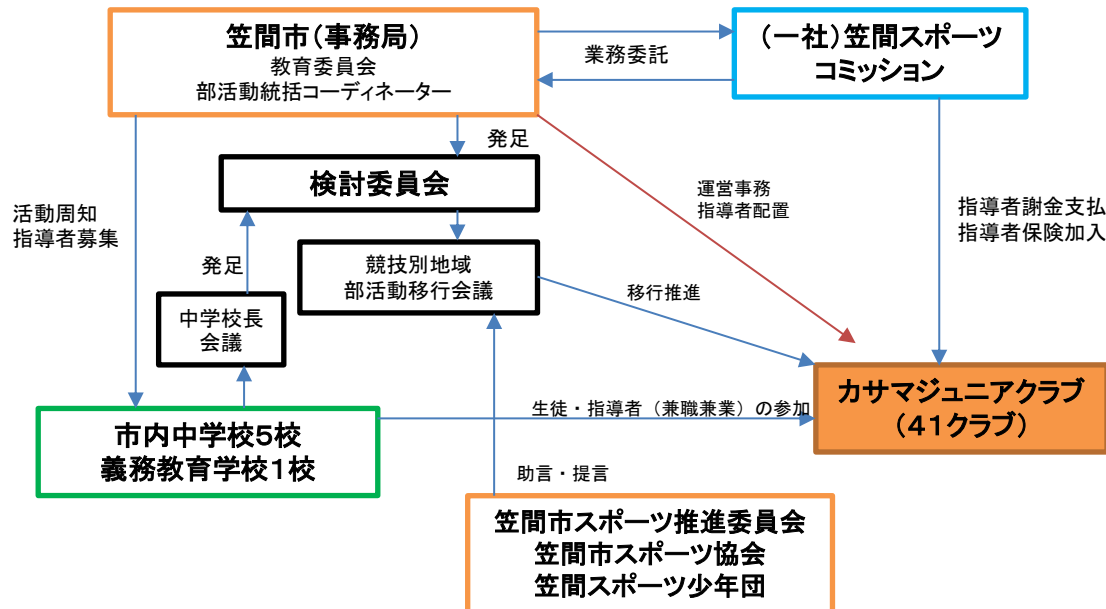
運動部員数  
令和6年度 生徒数 1,884人  
部員数 1,312人  
加入率 69.6%  
令和7年度 生徒数 1,758人  
部員数 1,225人  
加入率 70%

文化部員数  
令和6年度 生徒数 1,884人  
部員数 310人  
加入率 16.5%  
令和7年度 生徒数 1,758人  
部員数 316人  
加入率 18%

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●市区町村における推進体制図



#### ●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（学務課）→ 部活動統括コーディネーター1名を配置

- ・委託先：笠間スポーツコミッションとの連携 ・指導者掘起こし
- ・毎月のカサマジニアクラブ登録（スポーツ安全保険加入等）
- ・指導者登録後委託先に指導者登録名簿提出 ・指導者の研修
- ・指導報告書作成後委託先に提出（毎月）

◎市長部局（秘書課）

- ・情報提供（市民への広報）

### 年間の事業スケジュール

**4月** KJC登録（生徒分）登録状況確認、登録準備（保険 加入手続き、毎月実施）。  
地域クラブ活動指導者人材バンク登録申請書確認、登録準備。（毎月実施）

**5月** 第1回検討委員会 5/23  
委託先へ指導者活動報告書提出（毎月実施）

**8月** 第2回検討委員会 8/20

**12月** 第3回検討委員会 12/15

**1月** 各学校新入生保護者説明会にて周知活動

**2月** 令和8年度に向け、登録開始

**3月** 事業完了報告書・成果報告書等の作成

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|               |                                     |                   |    |
|---------------|-------------------------------------|-------------------|----|
| 実施した地域クラブ活動総数 |                                     | 41クラブ             |    |
| ケース別地域クラブ活動数  | A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数） | カサマジニア クラブ（41部活動） |    |
|               | B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数            | 0クラブ              |    |
| 全体の指導者数       | 84人                                 | 全体の運営スタッフ数        | 3人 |

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

| 地域クラブ活動名  | 運営団体種別  | 種目          | 実施回数<br>(平日・休日)     | 実施時間帯      | 参加者<br>(学年別)             | 実施期間  | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>(他クラブと兼務) | 会費               | 大会参加方法  |
|-----------|---------|-------------|---------------------|------------|--------------------------|-------|------|----------------------|------------------|---------|
| カサマジニアクラブ | 教育委員会直営 | 野球<br>笠間中   | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 3人<br>2年 3人<br>3年 4人  | 5月～3月 | 3人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：部活動 |
| カサマジニアクラブ | 教育委員会直営 | 野球<br>友部中   | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 3人<br>2年 3人<br>3年 0人  | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：部活動 |
| カサマジニアクラブ | 教育委員会直営 | 野球<br>友部二中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 5人<br>2年 3人<br>3年 0人  | 5月～3月 | 1人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：部活動 |
| カサマジニアクラブ | 教育委員会直営 | サッカー<br>笠間中 | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 10人<br>2年 3人<br>3年 1人 | 5月～3月 | 3人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：部活動 |
| カサマジニアクラブ | 教育委員会直営 | サッカー<br>稲田中 | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 2人<br>2年 5人<br>3年 5人  | 5月～3月 | 3人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：部活動 |

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

| 地域クラブ活動名   | 運営団体種別  | 種目              | 実施回数<br>(平日・休日)     | 実施時間帯      | 参加者<br>(学年別)            | 実施期間  | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>(他クラブと兼務) | 会費               | 大会参加方法      |
|------------|---------|-----------------|---------------------|------------|-------------------------|-------|------|----------------------|------------------|-------------|
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | サッカー<br>友部二中    | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 2人<br>2年 5人<br>3年 0人 | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | サッカー<br>岩間中     | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 8人<br>2年 2人<br>3年 0人 | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 男子バスケット<br>笠間中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 0人<br>2年 6人<br>3年 7人 | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 女子バスケット<br>笠間中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 8人<br>2年 4人<br>3年 2人 | 5月～3月 | 1人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 男子バスケット<br>友部中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 5人<br>2年 0人<br>3年 0人 | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 女子バスケット<br>友部中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 2人<br>2年 0人<br>3年 0人 | 5月～3月 | 1人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 女子バスケット<br>友部二中 | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 4人<br>2年 2人<br>3年 0人 | 5月～3月 | 1人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

| 地域クラブ活動名   | 運営団体種別  | 種目            | 実施回数<br>(平日・休日)     | 実施時間帯      | 参加者<br>(学年別)             | 実施期間  | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>(他クラブと兼務) | 会費               | 大会参加方法      |
|------------|---------|---------------|---------------------|------------|--------------------------|-------|------|----------------------|------------------|-------------|
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 女子バスケ<br>岩間中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 3人<br>2年 9人<br>3年 0人  | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 男子バスケ<br>岩間中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 7人<br>2年 10人<br>3年 0人 | 5月～3月 | 1人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 女子バレー<br>笠間中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 0人<br>2年 4人<br>3年 2人  | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 女子バレー<br>稲田中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 2人<br>2年 7人<br>3年 0人  | 5月～3月 | 1人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 女子バレー<br>友部中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 1人<br>2年 3人<br>3年 12人 | 5月～3月 | 3人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 女子バレー<br>友部二中 | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 3人<br>2年 7人<br>3年 0人  | 5月～3月 | 1人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 男子テニス<br>笠間中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 0人<br>2年 7人<br>3年 4人  | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

| 地域クラブ活動名   | 運営団体種別  | 種目           | 実施回数<br>(平日・休日)     | 実施時間帯      | 参加者<br>(学年別)            | 実施期間  | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>(他クラブと兼務) | 会費               | 大会参加方法  |
|------------|---------|--------------|---------------------|------------|-------------------------|-------|------|----------------------|------------------|---------|
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 女子テニス<br>笠間中 | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 0人<br>2年 3人<br>3年 2人 | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 男子テニス<br>稲田中 | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 3人<br>2年 6人<br>3年 3人 | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 男子卓球<br>笠間中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 0人<br>2年 9人<br>3年 6人 | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 女子卓球<br>笠間中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 0人<br>2年 2人<br>3年 2人 | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 男子卓球<br>友部中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 2人<br>2年 2人<br>3年 0人 | 5月～3月 | 1人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 女子卓球<br>友部中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 2人<br>2年 1人<br>3年 0人 | 5月～3月 | 1人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 男子卓球<br>友部二中 | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 6人<br>2年 7人<br>3年 4人 | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：部活動 |

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

| 地域クラブ活動名   | 運営団体種別  | 種目            | 実施回数<br>(平日・休日)     | 実施時間帯      | 参加者<br>(学年別)              | 実施期間  | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>(他クラブと兼務) | 会費               | 大会参加方法      |
|------------|---------|---------------|---------------------|------------|---------------------------|-------|------|----------------------|------------------|-------------|
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 女子卓球<br>友部二中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 1人<br>2年 7人<br>3年 1人   | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 男子卓球<br>岩間中   | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 9人<br>2年 6人<br>3年 13人  | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 女子卓球<br>岩間中   | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 3人<br>2年 9人<br>3年 3人   | 5月～3月 | 1人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 男女卓球<br>みなみ学園 | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 7年 0人<br>8年 4人<br>9年 5人   | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 剣道<br>笠間中     | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 0人<br>2年 4人<br>3年 5人   | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 剣道<br>友部中     | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 6人<br>2年 15人<br>3年 23人 | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 剣道<br>岩間中     | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 2人<br>2年 1人<br>3年 0人   | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

| 地域クラブ活動名   | 運営団体種別  | 種目         | 実施回数<br>(平日・休日)     | 実施時間帯      | 参加者<br>(学年別)              | 実施期間  | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>(他クラブと兼務) | 会費               | 大会参加方法      |
|------------|---------|------------|---------------------|------------|---------------------------|-------|------|----------------------|------------------|-------------|
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 柔道<br>笠間中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 0人<br>2年 4人<br>3年 0人   | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 柔道<br>友部中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 7人<br>2年 2人<br>3年 1人   | 5月～3月 | 3人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 柔道<br>友部二中 | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 0人<br>2年 8人<br>3年 6人   | 5月～3月 | 1人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 陸上<br>笠間中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 0人<br>2年 10人<br>3年 3人  | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 陸上<br>友部中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 12人<br>2年 11人<br>3年 0人 | 5月～3月 | 3人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 陸上<br>岩間中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 4人<br>2年 6人<br>3年 0人   | 5月～3月 | 2人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | 相撲<br>友部中  | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 1年 1人<br>2年 1人<br>3年 1人   | 5月～3月 | 3人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費 0円<br>年会費 0円 | 中体連：<br>部活動 |

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

| 地域クラブ活動名   | 運営団体種別  | 種目           | 実施回数<br>(平日・休日)     | 実施時間帯      | 参加者<br>(学年別)            | 実施期間  | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>(他クラブと兼務) | 会費              | 大会参加方法  |
|------------|---------|--------------|---------------------|------------|-------------------------|-------|------|----------------------|-----------------|---------|
| カサマジュニアクラブ | 教育委員会直営 | ゴルフ<br>みなみ学園 | 月4回/週1回<br>(土日いずれか) | 9:00～12:00 | 7年 7人<br>8年 7人<br>9年 1人 | 5月～3月 | 3人   | 3人<br>(内、兼務3人)       | 月会費0円<br>年会費 0円 | 中体連：部活動 |

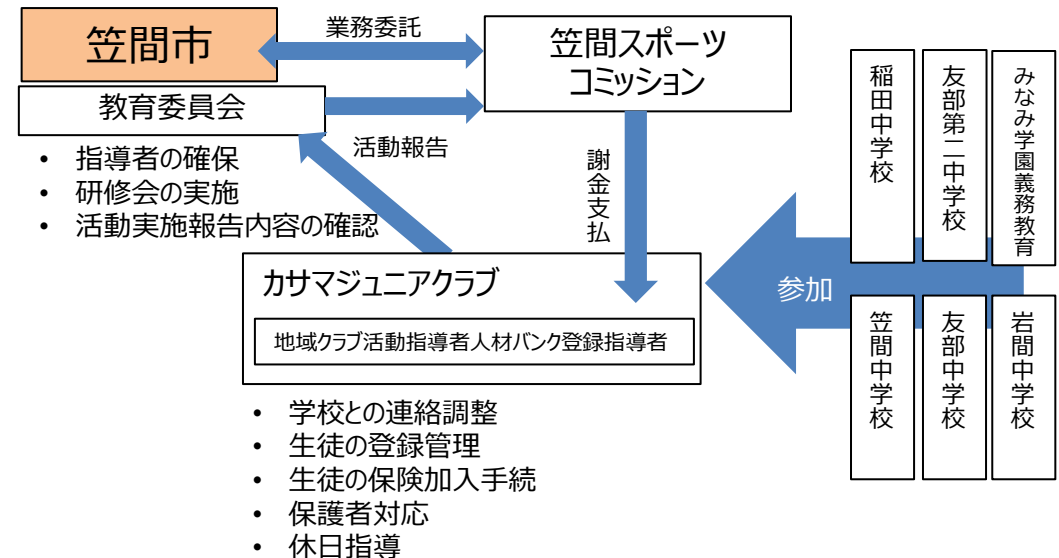
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●カサマジュニアクラブ 活動概要

|                 |                                                 |
|-----------------|-------------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | 野球、サッカー、バスケ、女子バレー、ソフトテニス、卓球、剣道、柔道、陸上、相撲、ゴルフ     |
| 運営団体名           | カサマジュニアクラブ                                      |
| 期間と日数           | 月4回程度                                           |
| 指導者の主な属性        | 教職員、地域人材                                        |
| 活動場所            | 市内全中体育館ほか                                       |
| 主な移動手段          | 自転車、通学バス、保護者送迎                                  |
| 1人あたりの参加会費等(年額) | 0円                                              |
| 1人あたりの保険料       | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年<br>指導者1人あたり：1,850円/年 |

#### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



#### ●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

##### ●統括責任者

役割：カサマジュニアクラブの登録及び指導者の登録。指導者、学校との連絡調整を行う

##### ●主任指導者 9名

役割：中学生の技術指導を行う

##### ●運営補助者 4名

役割：出席の確認等を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- ・ クラブ指導者の謝金、保険料、手数料等の支払い、その他運営事務を（一社）笠間スポーツコミッションに業務委託している。
- ・ 部活動総括コーディネーターが主体となり、市内中・義務教育学校及び笠間市スポーツ協会をはじめとする関係団体とともに部活動地域展開検討委員会を年3回開催し、地域クラブ運営上の課題等について協議する場を設けた。

##### 取組の成果

- ・ 計画した連絡協議会の名称を「部活動地域展開検討委員会」へ変更し、かつメンバーに各中学校長と市スポーツ協会の会長を加えて協議したことにより、スムーズに地域展開が進んだ。
- ・ 休日における部活動地域展開の達成率が90%超え、令和8年度はすべての運動部が地域展開できる体制が整った。

##### 今後の取組における課題

- ・ 競技別地域部活動移行会議を随時実施する予定であったが、日程調整がうまくいかず、実施できなかった。
- ・ 今後クラブ規模が拡大するに伴い、事務負担量の増大も懸念されるため、現状の運営人数や委託する業務内容の見直しが必要となる可能性がある。
- ・ 事務局、指導者、生徒（保護者）間における連絡体制を早急に構築する必要がある。

##### 課題への対応方針

- ・ 令和8年度は、持続可能な部活動地域展開となるように、競技別地域部活動移行会議を実施する。
- ・ 引き続き（一社）笠間スポーツコミッションへの業務委託を継続しつつ、委託する業務内容を見直す。
- ・ クラブ活動に特化した連絡ツールやアプリの導入を検討する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

- 部活動総括コーディネーターは、市内中・義務教育学校及び笠間市スポーツ協会をはじめとする関係団体とともに連携部活動地域展開検討委員会を年3回開催し、地域クラブ運営上の課題等について協議する場を設けた。
- 市内学校や保護者会等での事業内容や地域クラブの周知・説明。
- Googleフォームを用いた入会手続の一元化。
- 兼職兼業教員・地域の一般指導者の確保と各クラブへの指導者の配置。
- 毎月各指導者から提出される実績報告の管理及び（一社）スポーツコミッションへの報告。
- 初参加のクラブ指導者の活動時に同行し、指導や活動に慣れるためのフォローアップを行った。
- 生徒及び保護者、指導者、各中・義務教育学校等各関係者からの要望・意見の調整。
- 運営事務や体制の改善。

##### 運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- 持続可能な運営ができる組織体制の整備のため、部活動地域展開検討委員会のメンバーに各中学校長と市スポーツ協会を加えて、充実した協議ができるようにした。
- スムーズな地域移行と従来の部活動単位での活動を尊重する観点で、兼職兼業教員の確保に重点をおき、安全な指導体制を構築した。
- 新たに任用する指導者と対面での面談を実施した。
- 毎月クラブ活動の実績報告の提出を求めた。

##### 地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- 活動中の生徒同士のトラブルや事故等の対応を含め管理責任の主体について、指導者と部活動総括コーディネーターが綿密に連携している。
- 事故等が発生した場合における保護者や関係機関等との適切な連絡調整として、市教育委員会が責任を持って対応している。
- 各関係者間におけるトラブルについては、部活動総括コーディネーターが主体となってヒアリングを行い、適宜指導や意見調整を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

- ・ 市内学校をはじめとする各団体や、民間スポーツ団体、関係機関と連携し、指導スキルや専門的な競技知識・能力をもった指導者の確保を進めた。
- ・ 指導者の任用の際には対面での面談を実施した。
- ・ いばらき電子申請・届出サービス上でカサマジニアクラブ人材バンクを開設し、広域的な指導者の募集を行った。
- ・ 救命救急や指導法を目的とした指導者向け研修会を開催し、指導者の質の向上を図る予定であったが、実施できなかった。

##### 取組の成果

- ・ 部活動総括コーディネーターによる市内学校周知活動のほか、市HP等のPRを通して、カサマジニアクラブの指導者が100名を超えるほどに増えた。
- ・ 一方いばらき電子申請・届出サービス上で開設したカサマジニアクラブ人材バンクによる応募件数は年間数件程度で効果的に活用できなかった。
- ・ 従来の部活動単位をほぼ維持しつつ、休日のクラブ活動に移行できるよう指導者を配置することができた。

##### 今後の取組における課題

- ・ 研修会の講師と参加者の日程調整を踏まえると、全体的な指導者研修会の実施が困難である。
- ・ 自発的な応募による指導者数（特に地域の一般指導者）が少ない。
- ・ 競技や地域によって指導者が不足している。
- ・ 部活動地域移行や地域クラブ活動に対する理解が広く行き届いていないため、PRの方法やコンテンツを充実させていく必要がある。

##### 課題への対応方針

- ・ オンラインでの指導者研修ができるよう、研修会の在り方を工夫して実施する。
- ・ 国や県が推奨するコーディネーター企業のサービスを活用を検討する。
- ・ 市のHPやSNS等の各種媒体を活用する。また、学校等に配布できるチラシのデザイン等を改善する。
- ・ 指導者向けのガイドラインを作成する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

- 競技別地域部活動移行会議を継続して実施し、情報共有を図り、今後の方針について協議を深める予定であったが、実施できなかった。

##### 取組の成果

- 穴戸ヒルズカントリークラブ、ザ・レイクスカントリークラブと連携し、ゴルフ場での練習が確保され、充実した活動ができた。

##### 今後の取組における課題

- 競技別地域部活動移行会議は、日程調整がうまくできず、実施できなかった。

##### 課題への対応方針

- 令和8年度は、早めに日程調整を行い、競技別地域部活動移行会議を実施する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

##### 取組事項

- ・ 困窮世帯の支援の観点からも、令和7年度は生徒からの参加費用は徴収せず、市の予算を確保し無償化を実現した。
- ・ 参加時に加入必須であるスポーツ安全保険の保険料や付随する手数料等も上記同様無償化した。

##### 取組の成果

- ・ 受益者負担金を徴収しないことで、クラブ参加に対する経済的・心理的なハードルが下がり、市内中・義務教育学校の全校生徒における約9割がカサマジュニアクラブに登録した。（ただし、文化部も含む。）
- ・ また、従来の部活動の形態からの変化やギャップを抑えられたため、生徒及び保護者からの批判や苦情なく、スムーズに休日の地域クラブ活動への移行が実現した。

##### 今後の取組における課題

- ・ 今後事業が継続して拡大することを想定すると、永続的に全額市費の負担とすると、大幅な財政の圧迫が懸念されるため、受益者負担金を徴収するモデルへ移行することが必要となる。
- ・ 負担金を徴収するにあたっては、生徒及び保護者の経済状況や心理的に負担とならない低廉な金額の算定を慎重に検討する必要がある。
- ・ 事務局が運営に支障をきたさないように徴収スキームを確立する必要がある。

##### 課題への対応方針

- ・ 生徒及び保護者や学校等に、今後の受益者負担金徴収への移行計画等を段階的かつ、説明の場を設け丁寧に説明していく。
- ・ 他市町村での事例や負担金の算定根拠を収集し、本市の財政状況にもっとも則した内容を参考とする。
- ・ 徴収スキームの構築にあたっては民間事業者への業務委託を視野に入れ、運営体制に過度な負担がかからないよう留意する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

##### 持続可能な運営に必要な受益者負担額の試算

本事業の推進にあたっては、保護者の経済的負担を軽減し、生徒の主体的な活動機会を広く確保することを最優先とした。  
そのため、市においてあらかじめ潤沢な予算枠を確保と補助金の活用を前提とし、参加者からの受益者負担は一切徴収しなかった。  
以上の取り組みにより、経済的ハードルによる機会損失を防ぎ、スムーズな地域展開と参加生徒の確保の実現に寄与した。  
しかし、指導者謝金や参加生徒・指導者の保険料等をはじめとする諸費用に対し、継続的に多額の予算の確保が必要となる点や、  
今後国や県からの補助が終了した場合の財政的負担を考慮すると、持続可能な運営のためには将来的に受益者負担の徴収が必要になる。  
したがって、市の財政状況や各家庭の実情を総合的に判断し、可能な限り受益者の経済的負担にならない低廉な負担額の設定を検討する。  
また、他自治体がどのように負担金額を積算しているか情報収集し、本市においても他市の事例を参考にしながら、慎重に受益者負担のモデルに移行していきたい。  
なお、受益者負担の徴収については、いきなりではなく段階的に周知を進め、参加者及び参加希望者の理解を得られるよう努めていく予定である。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

- ・ カサマジニアクラブは市直営の地域クラブであり、従来の部活動単位での活動を重視するため、原則新たな活動拠点となる施設を要さず、既存の学校施設を有効に活用している。
- ・ 休日の活動時も優先的にカサマジニアクラブが活動できるよう、市内全ての中学校及び義務教育学校の学校長を交えて部活動地域展開検討委員会を発足し協議を重ねた。
- ・ 原則学校開放の枠は使わず、学校開放を利用する一般の個人・団体の利用枠を圧迫せずに活動した。
- ・ 指導者の配置する際に、各校の兼職兼業教員を配置することで、施設や施設の管理を円滑に行う。  
地域の一般指導者が主導するクラブにおいては、学校と指導者間において部活動総括コーディネーターを仲介しながら、鍵を受け渡し等の調整を行うことで、安全に施設を利用した。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

- ・ 地域移行を進めるにあたり、市内全ての中学校及び義務教育学校の学校長を交えて部活動地域展開検討委員会を発足し協議を重ねたため、休日の日中でもカサマジニアクラブの優先的な学校施設利用が実現した。
- ・ 兼職兼業教員を大多数のクラブに設置することで、平日の部活動時と同様の活動場所で円滑に学校施設を利用することができた。  
特に施設の鍵の施錠については、教職員（兼職兼業教員を除く）の負担削減に繋がった。
- ・ 備品等についても新たに整備はせず、平日の部活動時のものを流用し、コスト削減を実現した。

##### 用具使用・管理等における取組

- ・ カサマジニアクラブは、市直営の地域クラブなので、用具使用・管理等において、学校と綿密に連携を図り、支障なく活動している。
- ・ 大多数のクラブに兼職兼業教員が配置されているため、スムーズな管理が実現できている。
- ・ 事業推進にあたり、従来の各校の部活動単位をベースとして地域移行を進めたため、平日の部活時と変わらず、クラブ活動時も既存の用具を活用することで消耗品費などの費用負担を軽減に寄与している。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
**ク：その他の取組**



### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組

##### 取組事項

- ・ 他市町村の取組について情報を収集し、成功事例等における具体的な運営方法や内容を参考に、本市の取組に生かす。
- ①桜川市との情報交換（R7.4.18） 桜川市の地域クラブ認定制度を参考にする。
- ②小美玉市との情報交換（R7.5.26） 小美玉市教育委員会と小美玉スポーツクラブとの連携を参考にする。
- ③土浦市との情報交換（R7.7.23） 土浦市作成の「休日部活動の地域移行」のパンフレットを参考にする。
- ④神栖市との情報交換（R7.10.31） 市直営の「かみす地域クラブ」の運営方法を参考にする。

##### 取組の成果

- ・ 神栖市、土浦市、桜川市、小美玉市、常陸大宮市、城里町の担当者と情報交換を行い、本市の取組に生かすことができた。
- ・ 各市町村の地域移行に向けた実証事業の取組を理解することができ、笠間市の今後の進むべき方向性を見いだすことができた。
- ・ 特に、①受益者負担とする場合に留意する点、②施設利用にあたっての鍵の問題、③安心安全な通信アプリの活用、④持続可能な地域クラブの運営体制の整備等について、大いに参考になった。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

- ・ 笠間市では、令和7年度末にはすべての運動部が地域展開となるよう取組み、目標達成ができる見通しとなった。
- ・ 具体的には、54部の運動部のうち51の運動部が休日も活動しているが、市営の「カサマジニアクラブ」が民間の地域クラブとして、令和8年度はスタートする予定である。
- ・ 「部活動地域展開検討委員会」を3回実施して、学校、地域、関係団体との連携を図り、今後の進むべき方向性について共通理解を図った。

#### ●成果の評価

- ・ 3回実施した「部活動地域展開検討委員会」を通して、学校・地域・関係団体との連携が深まり、スムーズに地域展開が進むことになった。
- ・ 課題としていた「指導者の確保」については、兼職兼業制度を活用し多くの教員が地域クラブが指導に携わることで、数と指導の質が担保され、保護者の安心に一安心も寄与した。
- ・ 結果として、本事業の取組やカサマジニアクラブに対する苦情等は一切なく、部活動の地域展開を推進できた。
- ・ 運動部の地域展開は円滑に進んできたが、生徒、保護者、指導者等へのアンケートを実施することができなかったため、次年度はアンケートを実施して改善点を明確にしたい。

#### ●今後に向けて

- ・ 令和8年度は、すべての運動部が地域展開となる見込みだが、運営上課題として出てくる問題に対して、適切に対応していく。
- ・ 大きな課題としては、人材確保であり、引き続き関係団体と連携を図り、指導者確保に努めていく。
- ・ 笠間市直営の「カサマジニアクラブ」が持続可能なクラブとなるよう運営体制の整備を進める。

## 2.実証内容と成果②

### 参考資料



【穴戸ヒルズを練習場としたゴルフ部の様子】



【地域人材の指導者による卓球クラブの様子】

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ●ステークホルダー

カサマジニアクラブ・・・市直営の地域クラブ（事務局は市教育委員会）

#### ●経過

- ・ 令和6年、スポーツ・文化・芸術活動に親しむことができるように、笠間市教育委員会内に「カサマジニアクラブ」を設置した。
- ・ 令和7年に、運動部において、準備が整ったところから、休日の地域展開を進めてきた。
- ・ 令和8年度は、すべての運動部で地域展開できるようになる予定だ。

#### ●実施にあたって生じた課題

- ・ 指導者の確保
- ・ 生徒及び保護者への周知

#### ●実施内容、工夫した点 等

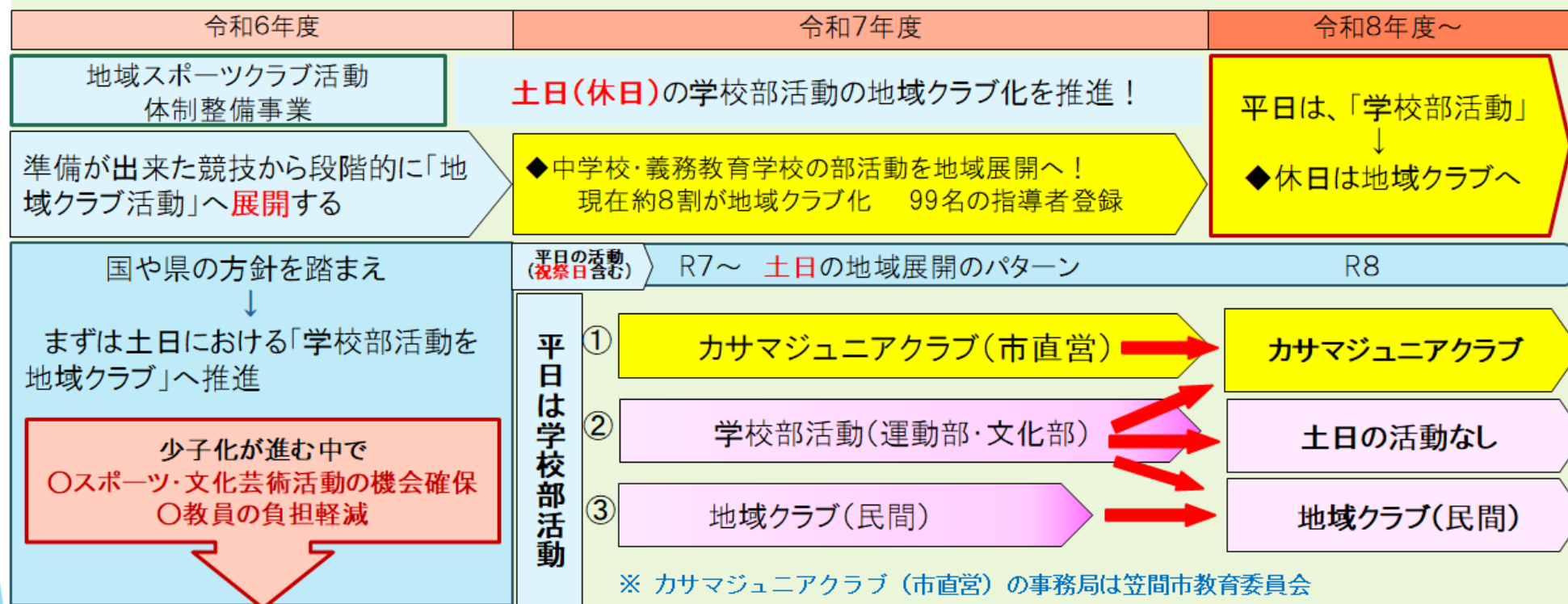
- ・ 生徒及び保護者への丁寧な説明
- ・ 教員の兼職兼務制度を活用した人材確保

### 3.今後の方向性

#### 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

#### 国の方針を踏まえ、**土日**の中学校部活動を地域展開へ（笠間市）

※令和8年3月現在



まずは、**土日**の「中学校学校部活動」から「地域クラブ活動」へ！

【カサマジニアクラブ(市直営)とは】

※中体連の大会等は、学校部活動として参加！

- ① 土・日のどちらか活動(3時間以内) ②指導者は地域指導者、学校の教員(兼職兼業)等 ③活動場所は学校の施設等  
④ スポーツ安全保険に加入(市が負担) ⑤指導者への謝金を市が負担 ⑥保護者負担はなし(R7, R8) ⑦加入は任意

令和7年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 茨城県取手市

自治体名： 茨城県取手市

担当課名： スポーツ振興課

電話番号： 0297-74-2141（内線3153）

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

|                                |                      |
|--------------------------------|----------------------|
| 面積                             | 69.94km <sup>2</sup> |
| 人口                             | 105,898人             |
| 公立中学校数                         | 6校                   |
| 公立中学校生徒数                       | 2,127人               |
| 部活動数<br>(運動部活動のみ)              | 79部活                 |
| 地域クラブ活動数                       | 10クラブ                |
| 市区町村の協議<br>会・検討会議等<br>の設置状況    | 設置済                  |
| 市区町村の推進計<br>画・ガイドライン等の<br>策定状況 | 策定済                  |

## 地域連携・地域展開にける市区町村の現状・課題

取手市には、市立6中学校に79の部活動があり、1,646名の生徒が日々活動している。その中には、毎年のように関東大会や全国大会に出場する部活動もあり、部活動が地域の伝統・文化として根付いている面もある。部活動の地域展開にあたり、それが子どもたちを主役とした本市にあった事業となるように、国及び茨城県のガイドラインに従い、各中学校にある部活動の良さを生かしながら地域展開を進めていくことになった。

令和7年度の主な取組は、大きく2つ、取手市部活動地域展開推進協議会は、部活動地域展開の中心的存在として、取手市スポーツ協会、取手市スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、取手市中体連、市P連、学識経験者、文化芸術関係団体の代表者に委員を委嘱し、教育委員会も加わって7月、10月、2月の3回開催した。モデル事業については、令和7年度は5つの中学校から10の部活動が、7つの地域クラブ活動となって、休日の活動を行った。令和8年度は、任意団体「取手市地域クラブ活動推進協会」を創設し、部活動地域展開推進協議会やモデル事業と通して課題を精査し、令和8年4月からの地域クラブ化に向けて取り組んでいる。

令和7年度中学生生徒数・・・2,127人  
部活動加入人数・・・1,646人（運動部文化部）  
部活動加入率・・・78.7%

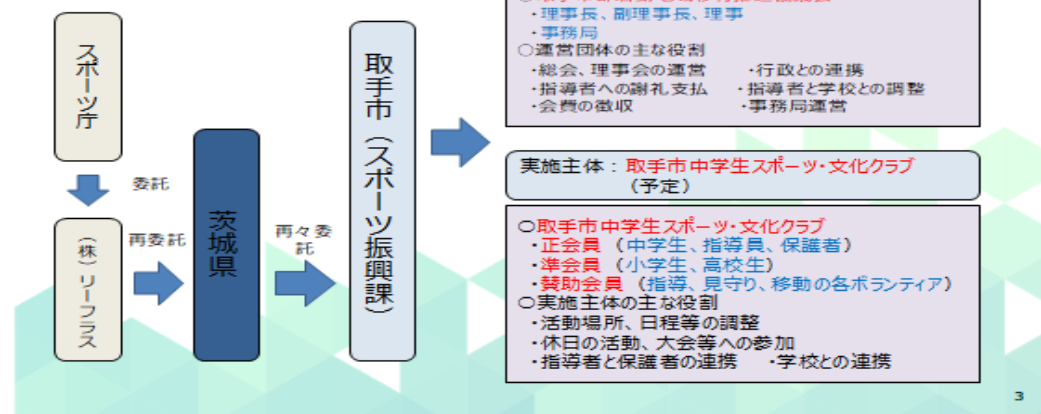
## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●市区町村における推進体制図

##### 2.実証内容と成果

#### ●取手市の運営体制図



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会 (スポーツ振興課)

- ・地域クラブ運営、取手市部活動地域移行推進協議会運営、謝金の支払い等

##### ◎コーディネーター

- ・学校、教員、保護者、指導者、生徒の連絡調整等

### 年間の事業スケジュール

- ・4月部活動地域展開指導員研修会開催
- ・4月モデル事業開始
- ・7月第1回取手市部活動地域展開推進協議会開催
- ・8月広報とりで記事掲載
- ・9月全中学生の生徒、保護者、教職員、小学5年生、小学6年生の保護者にアンケート調査実施
- ・10月第2回取手市地域展開推進協議会開催
- ・11月全中学校訪問、学校長、教頭にヒアリング開始
- ・11月保護者対象説明会実施 (2回)
- ・12月全中学校部活顧問に地域クラブ指導員としての希望調査開始
- ・1月指導員決定
- ・2月新入生説明会にて説明実施
- ・2月第3回取手市部活動地域展開推進協議会開催
- ・3月在学生への説明会実施

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|               |                                     |              |    |
|---------------|-------------------------------------|--------------|----|
| 実施した地域クラブ活動総数 |                                     | 10クラブ        |    |
| ケース別地域クラブ活動数  | A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数） | 10クラブ（17部活動） |    |
|               | B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数            | 0クラブ         |    |
| 全体の指導者数       | 15人                                 | 全体の運営スタッフ数   | 0人 |

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

| 地域クラブ活動名                    | 運営団体種別      | 種目                   | 実施回数<br>(平日・休日) | 実施時間帯          | 参加者<br>(学年別)           | 実施期間                   | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>(他クラブと兼務) | 会費           | 大会参加方法                       |
|-----------------------------|-------------|----------------------|-----------------|----------------|------------------------|------------------------|------|----------------------|--------------|------------------------------|
| 取手BRAVE<br>ベースボールクラブ        | スポーツ<br>振興課 | 軟式野球                 | ・休日 4回<br>・51回  | 1日4時間<br>最大8時間 | 1年14人<br>2年7人<br>3年8人  | 令和7年4月1日～<br>令和8年3月31日 | 4人   | 4人<br>(指導者と兼務)       | 0円/年額<br>(等) | 中体連：<br>拠点校<br>その他：地<br>域クラブ |
| 取手WEST.<br>ベースボールクラブ        | スポーツ<br>振興課 | 軟式野球                 | ・休日 4回<br>・47回  | 1日4時間<br>最大8時間 | 1年11人<br>2年14人<br>3年5人 | 令和7年4月1日～<br>令和8年3月31日 | 2人   | 2人 (指導者と兼<br>務)      | 0円/年額<br>(等) | 中体連：<br>拠点校<br>その他：地<br>域クラブ |
| 藤代南中、藤<br>代中バスケット<br>ボールクラブ | スポーツ<br>振興課 | バスケット<br>ボール<br>(男子) | ・休日 4回<br>・35回  | 1日4時間<br>最大8時間 | 1年6人<br>2年10人<br>3年10人 | 令和7年4月1日～<br>令和8年3月31日 | 1人   | 2人 (指導者と兼<br>務)      | 0円/年額<br>(等) | 中体連：<br>拠点校<br>その他：地<br>域クラブ |
| 藤代中、藤代<br>南中バスケット<br>ボールクラブ | スポーツ<br>振興課 | バスケット<br>ボール<br>(女子) | ・休日 4回<br>・38回  | 1日4時間<br>最大8時間 | 1年9人<br>2年5人<br>3年5人   | 令和7年4月1日～<br>令和8年3月31日 | 1人   | 2人 (指導者と兼<br>務)      | 0円/年額<br>(等) | 中体連：<br>拠点校<br>その他：地<br>域クラブ |

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

| 地域クラブ活動名        | 運営団体種別  | 種目         | 実施回数<br>(平日・休日) | 実施時間帯          | 参加者<br>(学年別)          | 実施期間                   | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>(他クラブと兼務) | 会費           | 大会参加方法                        |
|-----------------|---------|------------|-----------------|----------------|-----------------------|------------------------|------|----------------------|--------------|-------------------------------|
| 藤代南バレーボールクラブ    | スポーツ振興課 | バレーボール(女子) | ・休日 4回<br>・44回  | 1日4時間<br>最大8時間 | 1年7人<br>2年8人<br>3年2人  | 令和7年4月1日～<br>令和8年3月31日 | 1人   | 1人<br>(指導者と兼務)       | 0円/年額<br>(等) | 中体連：<br>拠点校<br>その他：地<br>域クラブ  |
| 柔道クラブ<br>TORIDE | スポーツ振興課 | 柔道         | ・休日 4回<br>・49回  | 1日4時間<br>最大8時間 | 1年6人<br>2年13人<br>3年6人 | 令和7年4月1日～<br>令和8年3月31日 | 2人   | 2人<br>(指導者と兼務)       | 0円/年額<br>(等) | 中体連：<br>拠点校<br>その他：地<br>域クラブ  |
| 藤代剣道クラブ         | スポーツ振興課 | 剣道(男女)     | ・休日 4回<br>・36回  | 1日4時間<br>最大8時間 | 1年8人<br>2年5人<br>3年3人  | 令和7年4月1日～<br>令和8年3月31日 | 2人   | 2人<br>(指導者と兼務)       | 0円/年額<br>(等) | 中体連：<br>拠点校<br>その他：地<br>域クラブ  |
| 取手一中剣道クラブ       | スポーツ振興課 | 剣道(男女)     | ・休日 4回<br>・62回  | 1日4時間<br>最大8時間 | 1年9人<br>2年12人<br>3年6人 | 令和7年4月1日～<br>令和8年3月31日 | 1人   | 1人<br>(指導者と兼務)       | 0円/年額<br>(等) | 中体連：<br>学校ごと<br>その他：地<br>域クラブ |
| 取手二中剣道クラブ       | スポーツ振興課 | 剣道(男女)     | ・休日 4回<br>・56回  | 1日4時間<br>最大8時間 | 1年11人<br>2年4人<br>3年1人 | 令和7年4月1日～<br>令和8年3月31日 | 1人   | 1人<br>(指導者と兼務)       | 0円/年額<br>(等) | 中体連：<br>学校ごと<br>その他：地<br>域クラブ |
| 取手二中空手道クラブ      | スポーツ振興課 | 空手道(男女)    | ・休日 4回<br>・49回  | 1日4時間<br>最大8時間 | 1年6人<br>2年4人<br>3年6人  | 令和7年4月1日～<br>令和8年3月31日 | 1人   | 1人<br>(指導者と兼務)       | 0円/年額<br>(等) | 中体連：<br>学校ごと<br>その他：地<br>域クラブ |

### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

#### ★地域の団体と連携した地域展開の取組

##### 美術（ワークショップ）

##### ○夏の油絵口座

- ・日時 令和7年8月25.29日 9:00から12:00
- ・会場 取手第一中学校美術室
- ・対象 取手市内中学校の美術部員
- ・講師 あーと屋図工室 浅野純人先生
- ・参加費 1人2,000円
- ☆取手一中の生徒2名、取手二中の生徒1名参加

#### ★地域の団体と連携した地域展開の取組

##### バドミントン講習会

##### ○ヨネックス取手市バドミントン教室

- ・日時 令和7年9月14日 12:00から15:00
- ・会場 TAC取手グリーンスポーツセンター
- ・対象 取手市内中学校のバドミントン部員
- ・講師 須藤泰子（元日本代表）  
ヨネックスアカデミースタッフ
- ・参加費 1人500円
- ☆取手一中、藤代中、藤代南中の生徒12名参加

## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●地域クラブ 活動概要

|                     |                                                 |
|---------------------|-------------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目      | 軟式野球、バレーボール、柔道、剣道、空手道、バスケットボール                  |
| 運営団体名               | 取手市教育委員会スポーツ振興課                                 |
| 期間と日数               | 令和7年4月1日～令和8年3月31日<br>月4回から5回程度                 |
| 指導者の主な属性            | 教職員による兼職兼業                                      |
| 活動場所                | 各中学校等                                           |
| 主な移動手段              | 自転車、保護者の送迎                                      |
| 1人あたりの参加会費等<br>(年額) | なし                                              |
| 1人あたりの保険料           | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年<br>指導者1人あたり：1,850円/年 |

#### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図

|               |              |                     |
|---------------|--------------|---------------------|
| スポーツ振興課(運営主体) | 種 目          | チーム名                |
|               | 軟式野球（男・女）    | 取手ブレイブベースボールクラブ(東部) |
|               |              | 取手ウエストベースボールクラブ(西部) |
|               | バスケットボール（男子） | 藤代南・藤代バスケットボールクラブ   |
|               | バスケットボール（女子） | 藤代・藤代南バスケットボールクラブ   |
|               | バレーボール（女子）   | 藤代南バレーボールクラブ        |
|               | 柔道（男・女）      | 柔道クラブTORIDE         |
|               | 剣道（男・女）      | 藤代剣道クラブ             |
|               |              | 取手二中剣道クラブ           |
|               |              | 取手一中剣道クラブ           |
|               | 空手道（男・女）     | 取手二中空手道クラブ          |
|               | 吹奏楽          | 取手二中吹奏楽くらぶ          |
|               | 吹奏楽          | 藤代南吹奏楽クラブ           |
|               | 8種目          | 12クラブ               |

#### ●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

##### ●スポーツ振興課

役割：地域クラブ活動運営全般を担当

指導者の任命、出勤管理、謝金の支払い、スポーツ保険等の加入、消耗品等の購入等

##### ●地域クラブ活動指導員

役割：担当する各クラブの運営を担当

活動計画の作成・実施、生徒・保護者への連絡、大会への参加等

## 2.実証内容と成果①

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

取手市では、令和5年度から中学校部活動の地域展開に取り組んでいます。「取手市部活動地域展開推進協議会」を設置し、取手市スポーツ協会、取手市スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、取手市中体連、市PTA連合会、学識経験者、文化芸術関係団体の代表者に委員を委嘱し、教育委員会も加わって年に3回開催しました。協議会を通して幅広く意見をいただき、事業推進に生かすようにしている。

また、実際に地域クラブ活動を運営していくための実証事業として、モデル事業を行いました。令和5年度は、軟式野球と剣道の2つであったが、令和6年度は軟式野球2つ、剣道2つ、女子バレーボール、柔道、空手道の7つに増えた。さらに令和7年度は吹奏楽2つ、男子バスケットボール、女子バスケットボール、剣道の5つが加わって、12のクラブが「地域クラブ活動」として休日の活動を行った。モデル事業を通して地域クラブ活動運営上の課題を精査し、令和8年度からの本格稼働に向けて取り組んでいる。

これまででは、学校、地域クラブ活動指導員の方と、各関係者の理解と協力により順調に進んでいる。

#### ●成果の評価

- ・地域展開を進めるにあたっては、運営団体・実施主体の設立、指導員の選出・任命、受益者負担等の大きな課題があったが、3年間の取組を通して、具体的な見通しを立てることができた。
- ・モデル事業を行った12のクラブ（文化部も含む）については、アンケート調査の結果からも、いい活動ができていた。令和7年度は12のクラブ（文化部も含む）をグッドモデルとして、情報共有した。次年度の本格稼働がスムーズに行える。
- ・広報活動を通して、生徒や保護者、教職員に対しては、部活動地域展開についての理解が進んできた。さらに、地域に向けても情報発信をしていきたい。

#### ●今後に向けて

部活動地域移行も目的は、部活動改革、すなわち

- ① 子供たちのために、スポーツ・文化活動の環境を整備していくこと。
- ② 教職員の働き方改革。

と考える。令和8年4月からは、市内6中学校のすべての部活動の休日の活動を地域に移行する予定である。将来を担う子供たちのためにも、市、学校、生徒、保護者、各関係団体、各関係者とも十分に連携し、市をあげての支援体制を整備することで、より良い地域クラブ活動を作っていきたい。

### アンケート結果・参加者/関係者の声

#### ●アンケート結果

保護者対象

|         |     |
|---------|-----|
| 1、中学校は？ |     |
| 取手一中    | 100 |
| 取手二中    | 224 |
| 永山中     | 74  |
| 戸頭中     | 66  |
| 藤代中     | 85  |
| 藤代南中    | 100 |

|                |     |
|----------------|-----|
| 2、部活に所属していますか？ |     |
| 所属している（運動部）    | 403 |
| 所属している（文化部）    | 145 |
| 所属していない        | 101 |

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 3、中学校部活動の地域展開はご存じですか？ |     |
| 大変よく知っている             | 29  |
| よく知っている               | 108 |
| 知っている                 | 414 |
| よくわからない               | 98  |

#### ●保護者の声

##### 保護者

- ・ 地域の人と子どもたちとの関わりが増える。
- ・ より専門的な指導が受けられる。
- ・ 専門的な指導により、子どもの向上心や目標を大切に  
してあげられる

##### 保護者

- ・ 他校の友人が増える可能性にはおおいに期待したい。
- ・ 子どもが希望する部が、通っている中学校にない場合  
があるので、希望する部で活動できた方がよいと思う。

##### 保護者

- ・ 先生たちの負担が少しでも減るといいと思う。
- ・ 受益者負担を減らしてほしい。

### アンケート結果・参加者/関係者の声

#### ●アンケート結果

|                  |     |
|------------------|-----|
| 4、地域クラブ活動に望むことは？ |     |
| 希望する活動ができる       | 494 |
| 専門的な指導が受けられる     | 343 |
| 友達の輪が広がる         | 272 |
| 大会で良い成績がとれる      | 149 |
| 大人になっても続けられる     | 166 |
| 先生たちの働き方改革につながる  | 202 |

|            |     |
|------------|-----|
| 5、参加に不安なこと |     |
| 人間関係       | 149 |
| 先生との関係     | 163 |
| 保護者との関係    | 87  |
| 保護者の負担     | 313 |
| 移動の安全      | 449 |
| 事故の責任      | 108 |
| 民間クラブとの差   | 119 |

#### ●保護者の声

##### 保護者

- ・ より詳しいコーチに教えてもらえる機会に恵まれたら、うれしい。
- ・ 専門分野は、期待できるし教員の働き方改革にも賛成。

##### 参加者/関係者②

- ・ 親の送迎なく通えること
- ・ 移行期、3年生が引退してからにしてほしい。

##### 参加者/関係者②

- ・ 友達との関係がうまくいくか心配
- ・ 親の負担を減らしてほしい。

### アンケート結果・参加者/関係者の声

#### ●アンケート結果

生徒対象

##### 1、在籍中学校は？

|      |     |
|------|-----|
| 取手一中 | 334 |
| 取手二中 | 387 |
| 永山中  | 291 |
| 戸頭中  | 176 |
| 藤代中  | 189 |
| 藤代南中 | 236 |

##### 2、部活動に所属していますか？

|             |     |
|-------------|-----|
| 所属している（運動部） | 835 |
| 所属している（文化部） | 349 |
| していない       | 429 |

##### 3、地域展開を知っていますか？

|             |     |
|-------------|-----|
| たいへんよく知っている | 105 |
| よく知っている     | 162 |
| 知っている       | 514 |
| よくわからない     | 832 |

#### ●生徒の声

##### 生徒

- ・ 成長できうる。
- ・ うまい人と一緒にやるとうまくなる。
- ・ 地域移行することは、いいことだと思う。

##### 生徒

- ・ スポーツが盛り上がる。
- ・ 参加したい人だけ、参加すればよい。
- ・ いろんな人とふれあえる。

##### 生徒

- ・ ほかの学校の人との交流ができる。
- ・ 学校の中だけでなく、他校とも交流が増える。
- ・ 部活が楽しいと感じることが多くなると思う。

### アンケート結果・参加者/関係者の声

#### ●アンケート結果

|                |     |
|----------------|-----|
| 4、地域クラブに望むこと   |     |
| 希望する競技が続けられること | 837 |
| 専門的な指導が受けられる   | 682 |
| 友達の輪がひろがる      | 675 |
| 大会で良い成績を収めたい   | 577 |
| 大人になっても続けたい    | 218 |
| 先生たちの負担軽減      | 165 |

|            |     |
|------------|-----|
| 5、不安なこと    |     |
| 友人関係       | 588 |
| 先生との人間関係   | 331 |
| 参加費や保護者負担  | 615 |
| 移動の安全確保    | 464 |
| やりたいクラブがない | 224 |
| 民間との差      | 326 |

#### ●生徒の声

##### 生徒

- ・ 部活動の種類が増えてほしい。
- ・ 活動した後の専門性指導を受けて、さらに個人一人一人が成長することができる環境ができることが期待。

##### 生徒

- ・ 部活動が快適になり、専門的な指導を受けられる。
- ・ 安全に活動できるようにそれぞれの部の設備を整える。
- ・ やりたいスポーツがあるけど、部活としてなくてできないという人がいなくなると思う。

##### 生徒

- ・ 友達との関わりを地域全体で広げて、学びを増やしてほしい。
- ・ 完全な移行ではなく、少しずつ移行していくとよいと思う。

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料



取手BRAVEベースボールクラブ



取手二中空手道クラブ



藤代南中バレーボールクラブ



藤代剣道クラブ

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料



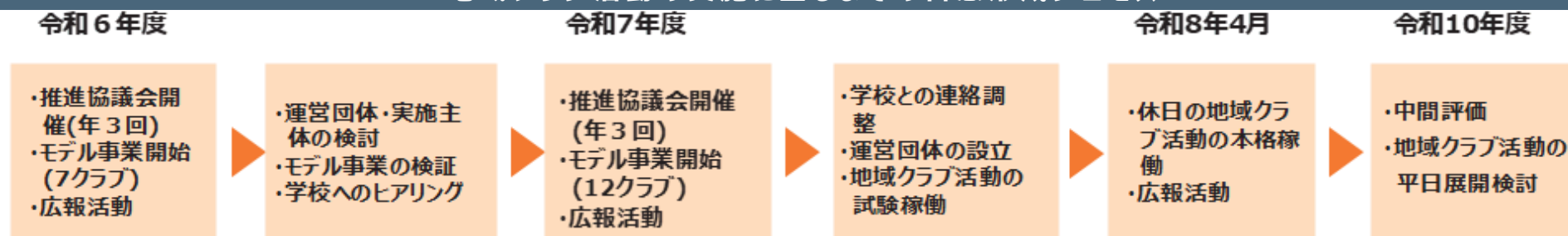
取手に中剣道クラブ



藤代・藤代南バスケットボールクラブ

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ステークホルダー

中学校、市スポーツ協会、市スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、市PTA連合会、市教育委員会スポーツ振興課

#### 経過

令和5年度から、取手市教育委員会スポーツ振興課が中心になって、部活動地域展開について取組を始めた。推進協議会を設置し、中学校、市スポーツ協会、市スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、文化芸術団体、市PTA連合会の代表者を委員に任命し、幅広く意見を求めながら事業を進めている。主な取組として、モデル事業を行いながら良い点と改善点の検証を行い、より良い地域クラブ活動を目指して取り組んでいる。

#### 実施内容

モデル事業を行うにあたって、各中学校で対象となる部活動の選定やその顧問の先生が兼職兼業での指導ができるかなど、現場の学校長の協力が不可欠である。中学校長会だけでなく、個別に各中学校を訪問し、モデル事業を行う部活動を決定していった。令和7年度は、5中学校の12の地域クラブ（文化部を含む）として拠点校方式で休日の活動を行った。

#### 実施にあたって生じた課題

スポーツ協会や少年団にも指導者の派遣をお願いしたが、適任者が見つからず、6年度のモデル事業の指導員は、すべて中学校の教員が兼職兼業でやることになってしまった。7年度は吹奏楽クラブもモデル事業を実施し、地域の方が指導員になっていただいた。徐々に地域展開、地域クラブの存在が浸透してきて、地域の方からも問い合わせが多数いただいた。とくにライセンスを有する等の規定は設けていない。指導を希望する方は、学校長と部活動顧問と相談、調整を行うことにしました。モデル事業では、参加費を徴収せず、公費で運営していましたが、今後は会費をいただきながら運営する。公費と会費のバランスの調整が難しかった。

#### 今後の展開

令和8年4月から、市内6校の中学校で休日の部活動を地域クラブへ展開する予定です。子どもたちがスポーツ、文化活動を持続可能な状況で行えるよう整備していく。

### 3.今後の方向性

#### 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和6年度

- ・推進協議会開催(年3回)
- ・モデル事業開始(7クラブ)
- ・広報活動

- ・運営団体・実施主体の検討
- ・モデル事業の検証
- ・学校へのヒアリング

令和7年度

- ・推進協議会開催(年3回)
- ・モデル事業開始(12クラブ)
- ・広報活動

- ・学校との連絡調整
- ・運営団体の設立
- ・地域クラブ活動の試験稼働

令和8年4月

- ・休日の地域クラブ活動の本格稼働
- ・広報活動

令和10年度

- ・中間評価
- ・地域クラブ活動の平日展開検討

令和6年度  
7クラブ  
クラブ員124人  
指導員11人  
268回

令和7年度  
12クラブ  
クラブ員280人  
指導員17人  
572回

令和8年度4月より  
本格稼働開始  
20クラブ予定  
クラブ員300人推定  
指導員40人推定  
400回推定